

2017年3月期（平成29年3月期）

上期決算報告

説明資料

2016年11月10日（木）



URL <http://www.nissin.com>

証券コード 2897

 **日清食品ホールディングス株式会社**

2017年3月期 上期決算報告 説明資料 目次

スライド番号

2.	エグゼクティブサマリー
	《上期レビュー》
4.	上期 実績サマリー
5.	セグメント別 売上実績
6.	セグメント別 売上貢献度
7.	セグメント別 営業利益実績
8.	セグメント別 営業利益貢献度
9.	2016年度 上期 営業利益 増減分析/連結（国内・海外）
10.	営業外損益、特別損益
11.	中計を意識した事業戦略 ～ 「中期経営計画2020」のKPI ～
12.	中計を意識した事業戦略 ～ カップ麺市場の創造 ① ～
13.	中計を意識した事業戦略 ～ カップ麺市場の創造 ② ～
14.	中計を意識した事業戦略 ～ 日清食品のブランド戦略 ～
15.	中計を意識した投資戦略 ～ 設備投資・事業投資 アップデート ～
16.	中計を意識した財務政策・資本政策 ～ 財務政策・資本政策 アップデート ～
	《修正事業計画》
18.	修正計画（年間）
19.	修正売上高・営業利益（年間）
	《APPENDIX》
22.	2016年度 国内事業 セグメント別定性情報 (1)
23.	2016年度 国内事業 セグメント別定性情報 (2)
24.	2016年度 国内事業 セグメント別定性情報 (3)
25.	2016年度 国内事業 セグメント別定性情報 (4)
26.	2016年度 海外事業 セグメント別定性情報 (1)
27.	2016年度 海外事業 セグメント別定性情報 (2)

補足資料

連結損益計算書	ページ
	1-2
セグメント別業績	3-4
連結期間等	5
営業利益の増減要因	6
為替レート等	7-8
連結貸借対照表(四半期)	9
連結損益計算書及び連結キャッシュフロー計算書(四半期)	10
新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト	11-12
主要経営指標(年間)	13
ヒストリカルデータ	14-15
主な日清食品グループ海外進出企業	16
IR関連リリース・トピックス	17
（参考）前中期経営計画2015（2013年4月発表）ダイジェスト結果	18
即席めん業界資料	19-21
国内各事業の市場データ	22

2017年3月期
上期決算報告
(2016年11月10日)



EARTH FOOD CREATOR



(ご参考) 資料の表記について

1

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算説明会資料」に掲載しています。
<http://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等があわない場合があります。
- 国内事業会社は原則として、2016年4月1日～2017年3月31日を「2016年度」とします。
- 海外エリアは原則として、2016年1月1日～2016年12月31日を「2016年度」とします。
 - ※米州地域(コロンビアを除く)は、2016年4月～2017年3月31日を「2016年度」とします。
 - ※中国地域は、2016年4月～2017年3月を「2016年度」とします。
 - ※インド事業は2016年度から決算期変更により、2015年1月～2015年12月が「2015年度、前期」、2016年4月～2017年3月が「2016年度、当期」となります。
- 新規連結等に関して
 - ※ぼんち(株)は、2015年度 期末からBS連結、2016年度 第1四半期からPL連結。
 - ※ブラジル日清は、2015年度 第3四半期から新規連結。
 - ※インドネシア日清は2016年度 第1四半期から新規連結。
- 売上・利益の「増減率」は決算短信と同じ±%表記を適用しています。
- 資料中の三角表記について: 絶対値のマイナスは△、増減のマイナスは▲で表記しています。
- 海外の関連会社の収益・費用は累計期間の期中平均為替レートを適用しています。
- 「スライドNo.」は右上に付記しています。

EARTH FOOD CREATOR



上期総括

- 上期売上高は日清食品グループとして4期連続で最高売上を更新
- 本業で稼ぐ力を示す「調整後営業利益*」は前期比、計画比ともに20%以上の増益
- 「親会社株主に帰属する当期純利益」も前期比、計画比ともに10%以上の増益

* 調整後営業利益=営業利益 - 退職給付会計の影響

➤ 上期連結業績を上方修正

東証適時開示 発表

- ✓ 営業利益が期初計画を30%以上、上回り上方修正

(営業利益 90億円 ⇒ 117億円 (+30.4%))

通期見通し

➤ 通期業績予想を上方修正

- ✓ 営業利益 +8億円
- ✓ 経常利益 +5億円
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益 +5億円



上期レビュー

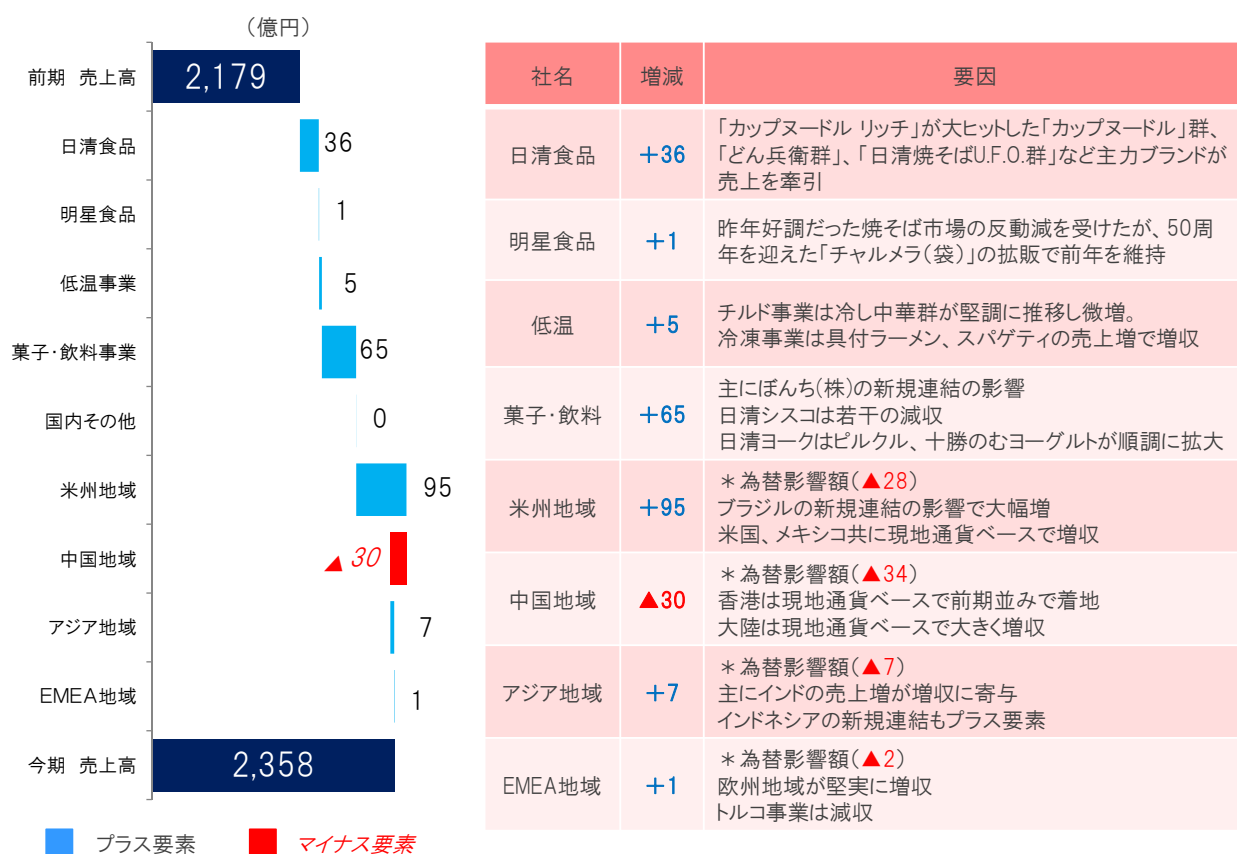
単位: 億円	2016年度			2015年度	2016年度
	上期実績	前期比	計画比	上期実績	上期事業計画
売上高	2,358	+8.2%	▲1.7%	2,179	2,400
営業利益	117	▲5.3%	+30.4%	124	90
調整後営業利益*	139	+21.5%	+23.6%	115	113
経常利益	138	▲14.4%	+19.7%	161	115
親会社株主に帰属する 四半期純利益	122	+12.9%	+16.3%	108	105
営業利益率	5.0%	▲0.7pt	+1.2pt	5.7%	3.8%
経常利益率	5.8%	▲1.5pt	+1.0pt	7.4%	4.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	5.2%	+0.2pt	+0.8pt	5.0%	4.4%

* 調整後営業利益=営業利益 - 退職給付会計の影響

セグメント別 売上実績

単位: 億円	2016年度			2015年度
	上期実績	前期差異	前期比	(前期実績)
即席めん事業	1,253	+36	+3.0%	1,217
日清食品	1,052	+36	+3.5%	1,016
明星食品	201	+1	+0.4%	200
低温事業	306	+5	+1.8%	300
菓子・飲料事業	263	+65	+32.5%	199
国内その他	19	+0	+1.6%	18
国内 計	1,840	+107	+6.1%	1,734
米州地域	276	+95	+52.5%	181
中国地域	175	▲30	▲14.9%	205
アジア地域	45	+7	+19.3%	38
EMEA地域	23	+1	+3.4%	22
海外 計	518	+72	+16.3%	446
連結売上高	2,358	+179	+8.2%	2,179

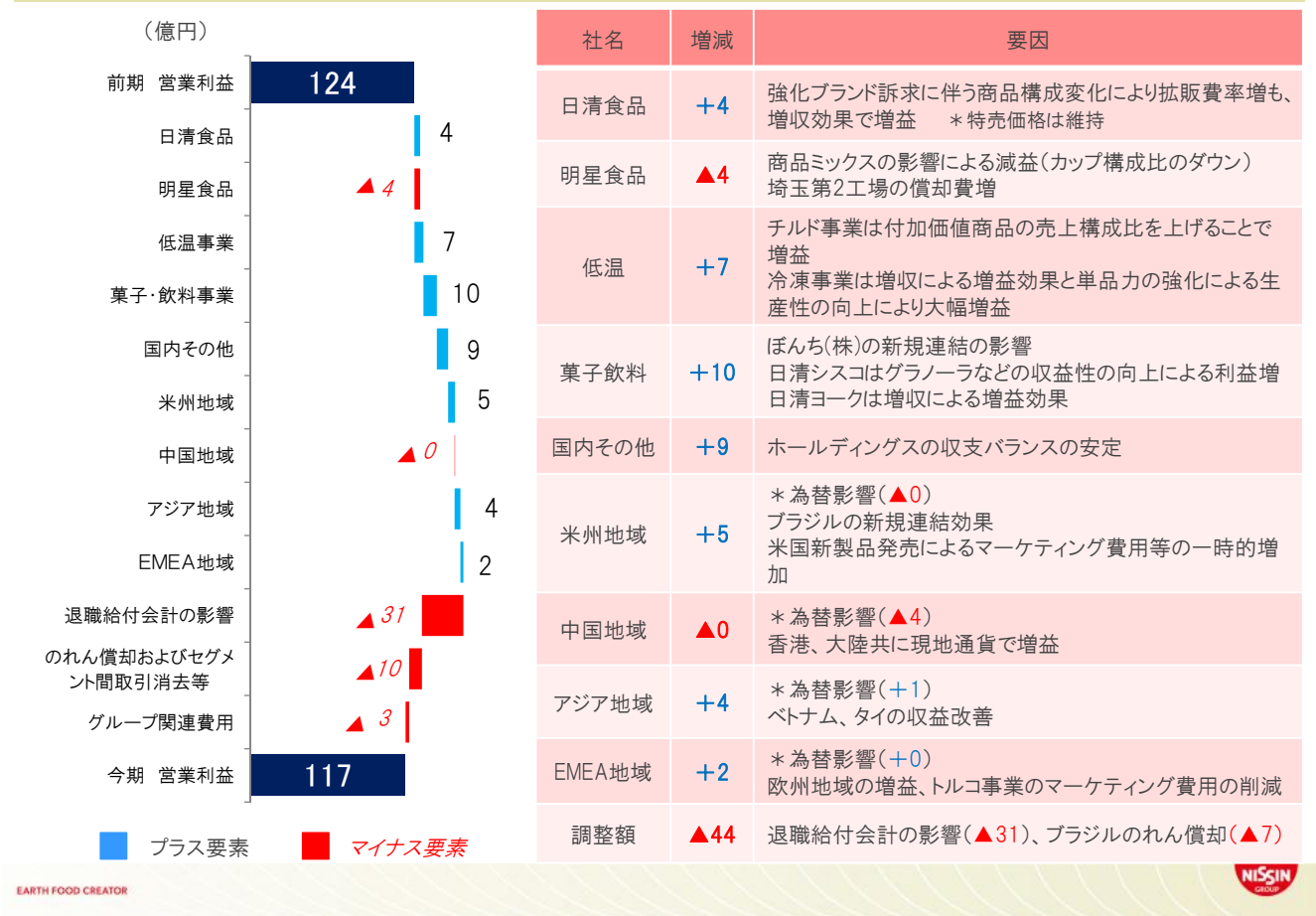
* 上期のセグメント別事業計画は公表していないので前期実績比較のみ表示



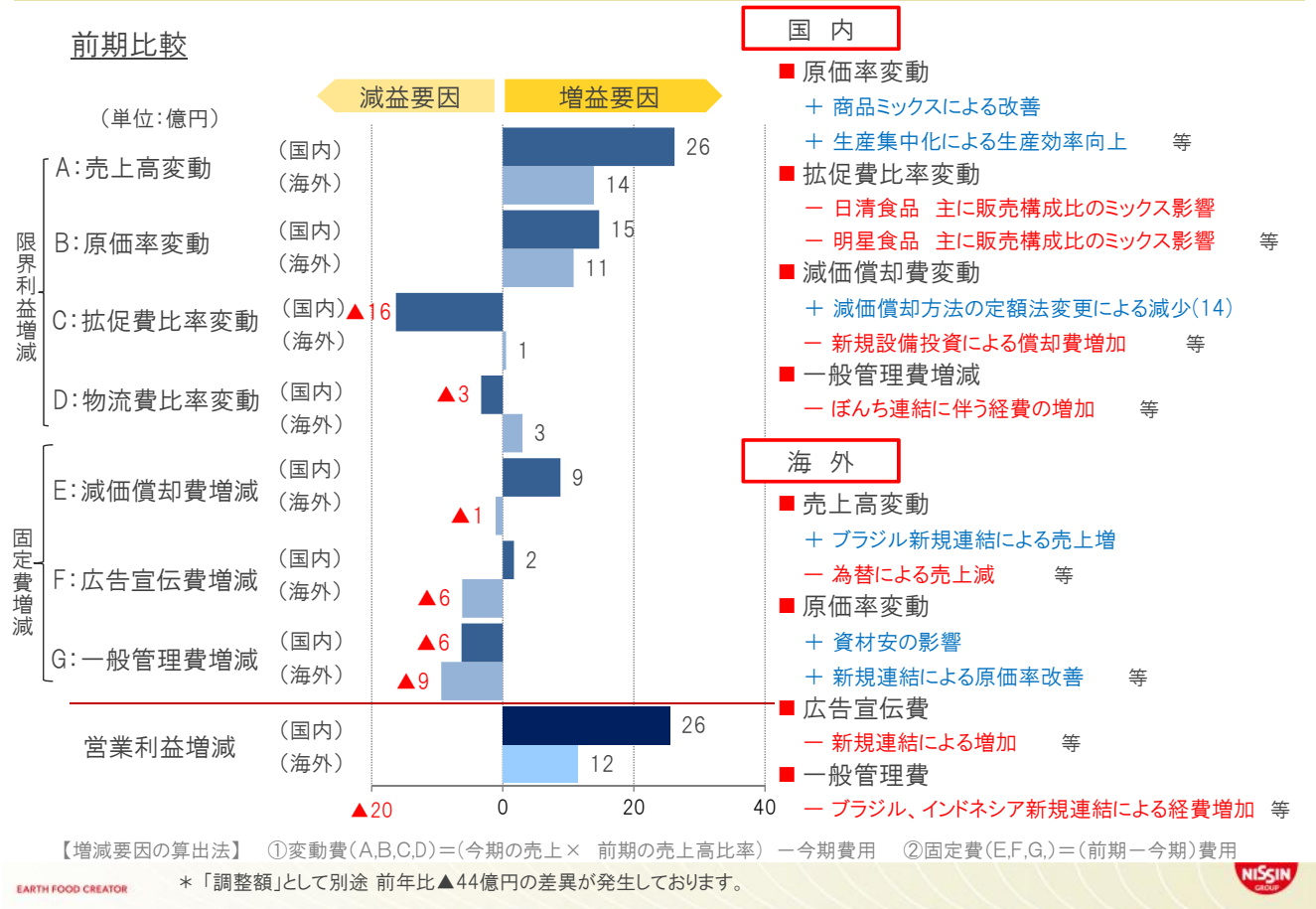
単位: 億円

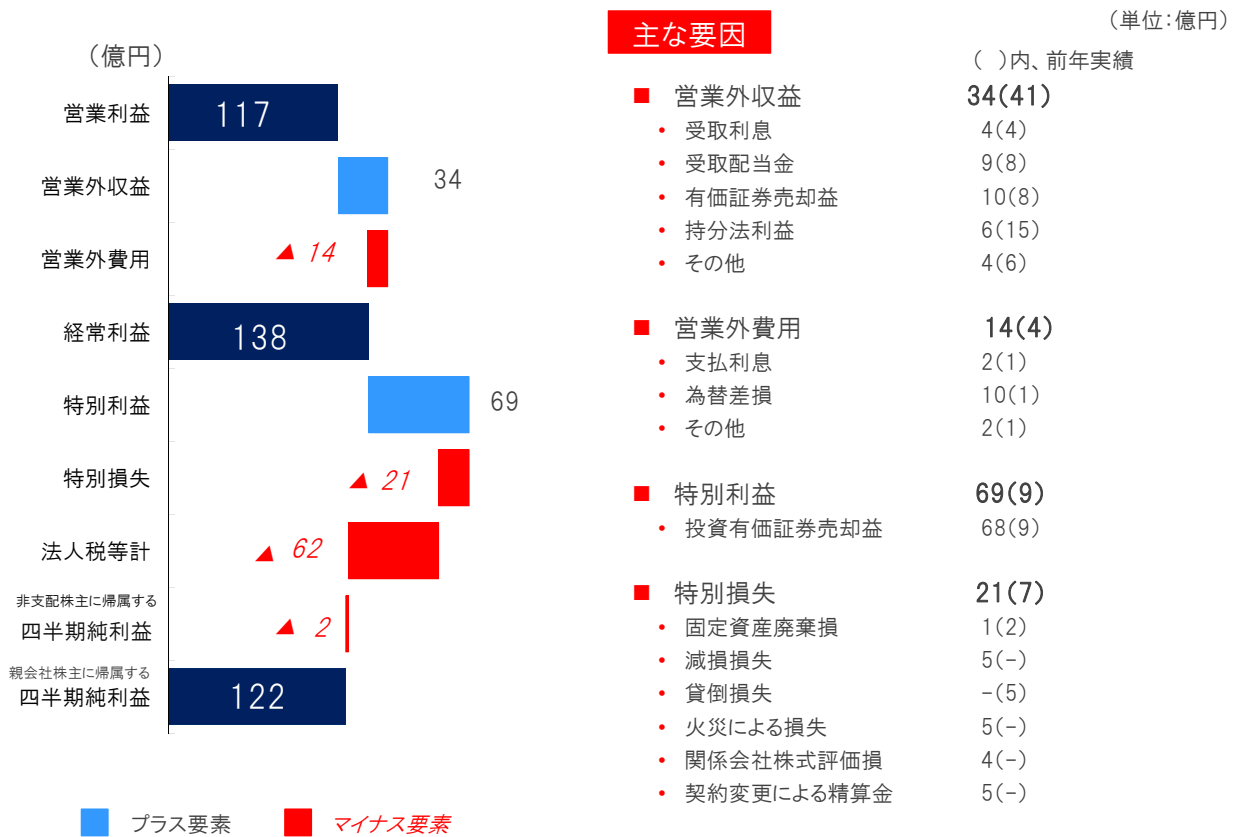
	2016年度			2015年度
	上期実績	前期差異	前期比	(前期実績)
即席めん事業	115	+0	+0.1%	115
日清食品	108	+4	+4.3%	103
明星食品	7	▲4	▲37.1%	12
低温事業	11	+7	+167.4%	4
菓子・飲料事業	17	+10	+139.9%	7
国内その他	9	+9	+1302.5%	1
国内計	152	+26	+20.2%	127
米州地域	7	+5	+241.2%	2
中国地域	18	▲0	▲2.1%	19
アジア地域	△5	+4	-	△9
EMEA地域	1	+2	-	△1
海外計	22	+12	+111.7%	10
調整額計	△57	▲44	-	△13
連結営業利益	117	▲7	▲5.3%	124
(参考)調整後営業利益	139	+25	+21.5%	115

* 上期のセグメント別事業計画は公表していないので前期実績比較のみ表示



2016年度 上期 営業利益 増減分析 / 連結 (国内・海外)





中計を意識した事業戦略 ～「中期経営計画2020」のKPI～

「グローバルカンパニーとしての評価獲得」の要件として、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値(時価総額)」を掲げ、KPIを設定。

	2015年度		2020年度	
	実績値 日本会計基準	() 参考値 日本会計基準	目標値 () IFRS基準	
本業で 稼ぐ力	売上高	4,681 億円	(6,000 億円)	5,500 億円
	調整後営業利益*	247 億円	(400 億円)	475 億円
資本市場 価値	時価総額**	5,700 億円		1 兆円
	純利益***	269 億円		330 億円
	ROE	7.4 %		8 %以上
	調整後EPS****	196 円	年平均成長率 10%以上	330 円

配当性向は、期間平均40%以上

* 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響
 ** 時価総額＝株価×期末発行済株式数(自己株式控除後)
 *** 日本会計基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」、IFRS基準における「親会社の所有者に帰属する純利益」
 **** 調整後EPS＝調整後NOPAT*****÷期中平均発行済株式数(自己株式控除後)
 ***** 調整後NOPAT＝税引後調整後営業利益＋持分法損益＋のれん償却額(持分法に含まれるものを含む)－非支配株主に帰属する当期純利益

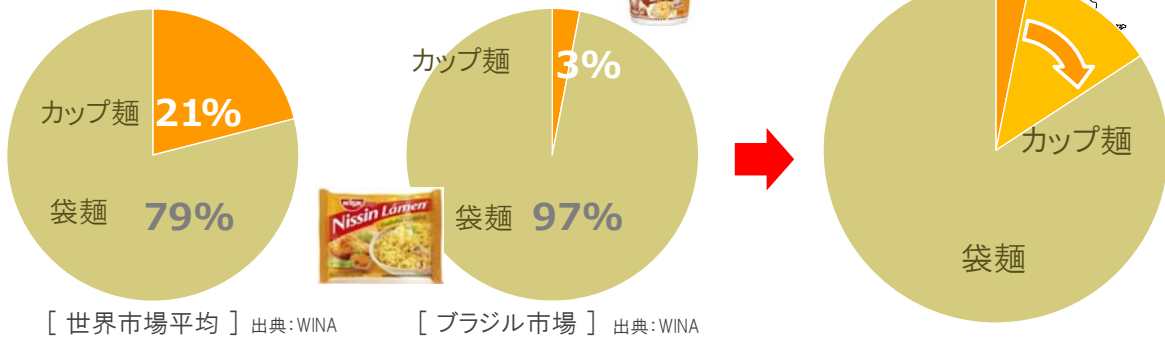


ブラジル カップヌードル戦略 遂に始動！

- ✓ ブラジル即席めん市場に「カップめん市場」を構築
- ✓ カップめん市場構成比を引き上げることでブラジル事業の飛躍的な成長を目指す

➡ **新 CUP NOODLES 9月発売**

■ 市場の袋・カップ構成比(2015年/食数)



[世界市場平均] 出典:WINA

[ブラジル市場] 出典:WINA

1 Global Brandingの促進

2 重点地域への集中

即席めん



Product

ブラジル史上最高においしい



- 具材のボリューム感
- 熱くない紙カップ
- パッケージ写真も鮮明
- 6つのフレーバー



Promotion

[TVCM] 「7 SAMURAI in BRAZIL」
7つの競技のトップアスリートを起用



[Web] 若者をTargetとした展開

[大試食キャンペーン] 未だかつてない規模

Price



Place

[売り場] スーパーマーケット
コンビニエンスストア
キオスク(小店舗)
+
学校 オフィス
空港 地下鉄
遊園地 ビーチ





ブランドが将来の利益成長を牽引する

国内収益基盤の盤石化



即席めん

- カップヌードルブランドで全ターゲット層を網羅し、全ての世代にブランドを浸透させる
- 高単価でも売れる商品を提案することで更にブランドに磨きをかける
- 他社より高い平均価格を維持しつづけることで収益を生み出す

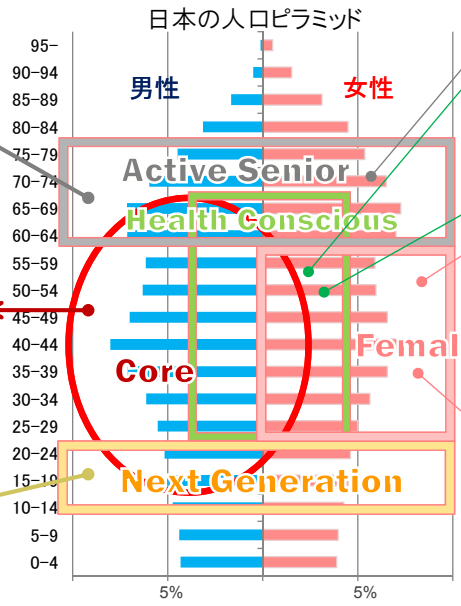
カップヌードル リッチ
2016年4月発売
10月再発売

カップヌードルシリーズ初の高価格品(定価230円)
発売3週間で600万食を販売
10月末現在で約1,400万食を販売



カップヌードルBIG 謎肉祭
2016年9月限定発売

SNSを中心に話題沸騰
発売3日で休売が決定
生産体制を整えて、
10月再発売



カップヌードルライト
2007年3月発売
カロリーオフで健康意識ユーザーを拡大

カップヌードルライトプラス
2015年3月発売
カロリーオフ、食物繊維で女性層を拡大

トムヤムクンヌードル
2014年4月発売
女性に人気のあるエスニック
テイストを取り入れ女性ユーザーを拡大

シンガポールラクサ
*フレーバーエクステンション

EARTH FOOD CREATOR



投資計画

中計方針

時価総額1兆円達成に向け、2021年度以降への持続的成長期待に繋がる投資を本中期計画期間に実行。

設備投資

事業投資(M&A)

5年間合計 1,500億円規模を想定

5年間合計 1,000億円規模を想定

- 国内
 - 持続的成長のために、即席めん事業において省人化と安心・安全マネジメント強化を目的とした投資等
- 海外
 - 成長が見込まれるエリアにおける生産体制強化等
- 全体
 - 更新投資

- 即席めん
 - ブランドを軸とした、価値向上が期待できる案件等
- 非即席めん
 - 菓子を中心とした競争力強化につながる案件
 - 即席めん事業とのシナジーが期待できる案件
 - グローバル展開可能な技術を有するところ

今期設備投資 年間投資予算 439億円 → 上半期実績 174億円

(大きな設備投資計画)

- ・ 中国事業 新工場建設等 … 香港12月稼働予定、浙江1月稼働予定
- ・ 日清ヨーク 関東新工場 … 埼玉7月稼働

- ・ 海外事業のライン増設
- ・ ERP 第2期(チルド・冷凍) … 10月稼働
- ・ 更新投資等

減価償却費

年間計画 163億円 → 上半期実績 75億円

- 会計方針の変更
 - ・ 国内の減価償却方法を定率法から定額法へ変更
※各事業ごとの影響額は補足資料 P.8 に記載
- 主な増加要因
 - ・ 日清ヨーク 関東新工場 … 7月稼働
 - ・ 中国事業 新工場
福建工場 … 4月稼働、香港ライン増設 … 12月稼働予定、浙江工場 1月稼働予定)

(億円)	2015年度	2016年度(計画)
変更前	175	203
償却方法変更後	—	163

EARTH FOOD CREATOR



政策保有株の方針

【上場株式の政策保有に関する方針】（コーポレートガバナンス・コード 原則1-4）

当社は、配当・キャピタルゲインの獲得以外に、取引先との良好な関係を構築し、事業の円滑な推進を図ることで中長期的な企業価値の向上を実現する観点から、必要と判断する上場企業の株式を保有することがあります。

こうした株式については、上記の観点に照らし、継続保有の可否について取締役会にて定期的に検証しております。

また、資本効率向上等の観点から保有総数を削減していく方針としており、市場への影響等を総合的に考慮のうえ、適宜売却することといたします。

具
体
例

小野薬品工業株式会社の株式を一部売却（2016年8月29日）

当社が売却する投資有価証券	小野薬品工業株式会社普通株式
当社が売却する株式数	4,070,200 株
売却金額	10,157 百万円
投資有価証券売却益	6,658 百万円

株主還元

2016年度(計画) 年間配当金 80円/1株当たり

(方針)

- ① 配当性向/‘中期経営計画2020’ 期間平均配当性向40%以上を目標とする
- ② 自己株式取得/経営環境・事業環境に応じ、機動的に自己株式取得を検討する

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 (期初計画)	2016年度 (修正計画)
配当性向	43.8%	42.9%	44.7%	32.6%	39.3%	38.5%
総還元性向	43.8%	42.9%	44.7%	85.2%	—	—



修正事業計画

▶ 「中期経営計画2020」の初年度目標をクリアし、次の4年に弾みをつける

単位：億円	2016年度			2015年度 (前期実績)	2016年度 (期初計画)
	修正計画	前期比	期初計画比		
売上高	5,000	+6.8%	—	4,681	5,000
営業利益	278	+5.3%	+3.0%	264	270
調整後営業利益*	323	+31.1%	+2.5%	247	315
経常利益	315	+2.5%	+1.6%	307	310
親会社株主に帰属する 当期純利益	225	▲16.3%	+2.3%	269	220
営業利益率	5.6%	▲0.1pt	+0.2pt	5.6%	5.4%
経常利益率	6.3%	▲0.3pt	+0.1pt	6.6%	6.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	4.5%	▲1.2pt	+0.1pt	5.7%	4.4%

EARTH FOOD CREATOR

* 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響



修正売上高・営業利益（年間）

売上高

単位：億円	2016年度			2015年度 (前期実績)	2016年度 (期初計画)
	修正計画	前期比	期初計画比		
日清食品	2,283	+2.1%	—	2,236	2,283
日清食品以外の国内	1,555	+8.3%	—	1,435	1,555
国内計	3,838	+4.5%	—	3,671	3,838
海外計	1,162	+15.1%	—	1,009	1,162
連結売上高	5,000	+6.8%	—	4,681	5,000

営業利益

単位：億円	2016年度			2015年度 (前期実績)	2016年度 (期初計画)
	修正計画	前期比	期初計画比		
日清食品	277	+15.5%	+3.7%	240	267
日清食品以外の国内	73	+127.4%	▲2.7%	32	75
国内計	349	+28.6%	+2.3%	272	341
海外計	43	+50.4%	—	28	43
調整額計	△114	—	—	△36	△114
連結営業利益	278	+5.3%	+3.0%	264	270
(参考)調整後営業利益	323	+31.1%	+2.5%	247	315

EARTH FOOD CREATOR

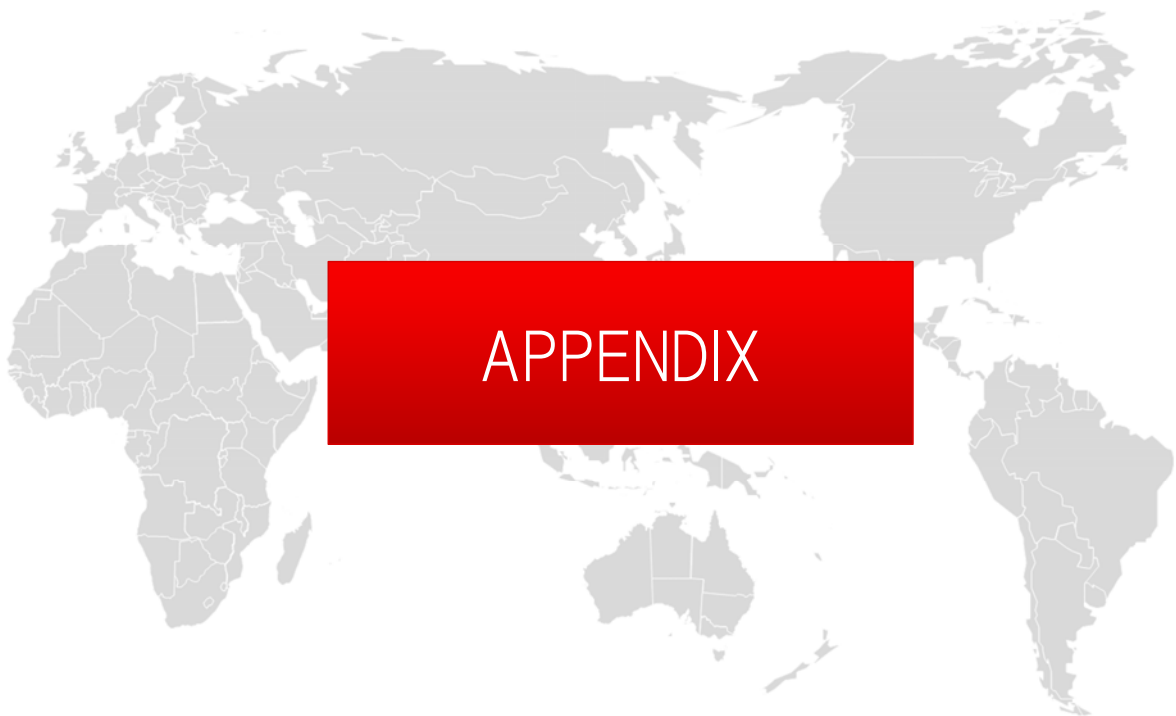
* 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響





日清食品ホールディングス株式会社

EARTH FOOD CREATOR



EARTH FOOD CREATOR



日清食品

キャッシュの創出と収益力の強化

上期状況

袋めん 前年比 ▲4%、カップめん 前年比 +5%、日清食品合計 +3%

- 主力3ブランド
周年イヤーの効果的商品戦略により売上大幅アップ
- ブランドコミュニケーションを主軸とした話題作り



売上 UP



売上 UP



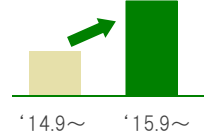
売上 UP



大好評につき生産が追いつかず一時休売



どん兵衛の話題量拡大
SNSにおける年間の話題量が倍増



通年経営方針

- 100年ブランドカンパニーに向けた挑戦
～既存のブランド価値の極大化～
- Beyond Instant Foods
～新しい価値と市場の創造～
- 2期連続の売上高、過去最高の更新を目指す

‘Anniversary Year’の活用



カップヌードル 45th



日清のどん兵衛 40th



日清焼そばU.F.O. 40th

シニア層と女性層の取り込み



カップヌードル リッチ



カップヌードル エスニックシリーズ



コアブランドの売上拡大



チキンラーメン



日清 ラ王



日清 麺職人

明星食品

主力ブランドの強化と提案型マーケティングの実践

上期状況

袋めん 前年比 +4%、カップめん 前年比 ▲1%、明星食品合計 +1%



50周年のアニバーサリーイヤーを活用し、チャルメラブランドの再強化

売上 10%以上UP

(参考) 明星食品グループ売上高(セグメント間取引含む)

	2016年度		'16/'15増減		2015年度 上期実績
	上期実績	額	率	率	
明星食品グループ	230	+2	+0.8%		228
(セグメント間取引)	(29)	(+1)	(+4.2%)		(28)
明星食品G 消去後	201	(+1)	0.4%		200

通期経営方針

- 主力ブランドの徹底強化
～広告展開によるコミュニケーション強化～
- 新コンセプト商品の育成
～低糖質麺の拡販～
- チャネル毎の戦略を明確化

焼そばジャンルNO.1を目指す



一平ちゃん 夜店の焼そば



低糖質麺

Anniversary Year



チャルメラ

新コンセプト商品の育成

日清食品チルド 付加価値ブランドの育成と技術の活用

上期状況

前期比 / 売上 +0% 営業利益 増益

- 冷し中華
「涼麺」キャンペーン、「ラーメン屋さん」リニューアルによる売上拡大
- 次世代ブランドの育成
「まぜ麺」などの次世代商品を拡販

通期経営方針

- 主力ブランドの強化
～伸びる商品への集中、商品の絞り込み～
- 次世代ブランドの育成
～新しい価値の提案と市場ニーズの取り込み～
- オリジナリティのある商品開発



行列のできる店

太麺焼そば

中華風涼麺

まぜ麺

日清食品冷凍 成長カテゴリへの集中、戦略商品強化、新チャネル開拓

上期状況

前期比 / 売上 +3% 営業利益 増益

- 単品力の強化
カテゴリNo.1ブランドへの育成(10億円商材を目指す)
具多辣椒担々麺、もちっと生パスタ、スパ王プレミアム
- 生産の集約によるコストメリットの追求
単品力の強化に伴う効率的生産シフトによる原価ダウン

通期経営方針

- 冷凍食品事業3本柱の強化
～「家庭用」「宅配用」「業務用」3本の柱を育てる
- 単品力の強化 ～単品力強化による収益性の改善
- 販売チャネル別の戦略構築
～成長するCVS冷食への対応～



スパ王プレミアム

もちっと生パスタ

日清具多

EARTH FOOD CREATOR



日清シスコ 成長事業(シリアル)と創業事業(菓子)の両輪による成長

上期状況

前期比 / 売上 ▲2% 営業利益 増益

- グラノーラの収益構造の見直し
品質の強化と価値戦略の徹底による収益構造の変化
- 「ココナッツサブレ」
若者層を取り込むマーケティングを展開し着実に間口を拡大
- 「Choco Flakes」
品質の向上とブランドの統一による商品強化



通期経営方針

- 「ごろっとグラノーラ」のブランド価値向上
～品質の強化、価値戦略の徹底～
- 「ココナッツサブレ」 100年ブランドを目指す
～質と利便性の向上～
「ココナッツサブレ」を小分け化(10月)



ぼんち

2015年度期末からBS連結、2016年4月からPL連結開始

上期状況

前期比 / 売上 +8% 営業利益 増益
(前期連結対象外)

- 「ぼんち揚」を中心したメインブランドの売上拡大
- グループ内のブランドタイアップによる露出の拡大



通期経営方針

- 2016年度から連結決算に組み入れ
- 日清シスコ、(株)湖池屋とのシナジーを模索

日清ヨーグ

関東 新工場稼働による生産性の改善・生産能力拡大

上期状況

前期比 / 売上 +18% 営業利益 増益

- 「ピルクル」
‘Ask Doctors’活用による品質訴求と売り場の拡大
- 「十勝のむヨーグルト」
フレーバー展開による提案力の強化とSKUの拡大
- 新関東工場 稼働開始
7月に新工場での生産がスタート



通期経営方針

- 関東 新工場の稼働による供給量のアップと生産性の改善
- 2大ブランド「ピルクル」、「十勝のむヨーグルト」の販売強化
～「ピルクル」の機能的価値訴求の強化～
～「十勝のむヨーグルト」の導入店舗増による売上拡大～

EARTH FOOD CREATOR



米州地域

市場環境の変化への対応とブラジル日清の戦略強化

上期状況

- **アメリカ** 前期比 / 売上 +1% 営業利益 減益
消費者意識の変化に対応した商品リニューアル
(20%減塩、MSG無添加※、人工フレーバー不使用)
※一部の原材料には天然由来のMSGが含まれます
- **メキシコ** 前期比 / 売上 +13% 営業利益 増益
価格改定による収益性の改善
- **ブラジル** 前期比 / 売上 +4% 営業利益 減益(前期連結対象外)
下期のカップヌードル戦略実施のための準備期間
工場の火災影響から販売食数減も、2月の価格改定効果で増収、
「カップヌードル」戦略への先行投資発生で減益



通期経営方針

- **アメリカ**
 - ✓ 既存ブランドの売上・利益の確保
 - ✓ 消費者意識の変化に対応したマーケティングの実践
- **メキシコ**
 - ✓ IEPS課税の解除を追い風とした売上の拡大
 - ✓ 価格改定による収益の改善
- **ブラジル**
 - ✓ 経営の意思決定のスピードアップ
 - ✓ カップめん市場創造の足掛かりをつくる



中国地域

売上拡大に伴う生産体制の強化

上期状況

- **香港** 前期比 / 売上 ▲0% 営業利益 増益
大陸からの観光客の減少
- **大陸** 前期比 / 売上 +7% 営業利益 増益
エリア拡大による売上成長
既進出エリア(上海、北京)での実回転アップ
広東・福建省における販促強化
新工場の稼働(福建日清/4月から生産開始)



通期経営方針

- **香港**
 - ✓ 既存ブランドの売上・利益の確保
 - ✓ 大陸向け「出前一丁」の生産能力拡充
- **大陸**
 - ✓ 営業網の更なる拡充
 - ✓ 「合味道」を中心とした営業力の強化
 - ✓ 香港製「出前一丁」の売上拡大
 - ✓ 生産工場拡充による商品供給力のアップ
- **他**
 - ✓ 菓子ビジネス(日清湖池屋)の拡大



EARTH FOOD CREATOR

※売上・利益の前年比は現地通貨ベース(現地データに基づく)

アジア地域

インド事業の早期回復、成長セグメントへの集中、三菱商事とのアライアンス

上期状況

- **インド*** 前期比 / 売上 ほぼ倍増 営業損失 横ばい
8大都市を中心とした「CUP NOODLES」の売上拡大
即席めん需要を回復させるためのマーケティング投資
- **タイ** 前期比 / 売上 微減 営業損失 改善
「CUP NOODLES」の価格改定
- **シンガポール** 前期比 / 売上 微減 営業利益 増益
収益性の高いカップ/ボウルめんの販売を強化
TT(伝統小売)チャンネルの強化
- **ベトナム** 前期比 / 売上 減収 営業損失 改善
営業効率を重視し大都市エリアに集中
6月にベトナム向け「CUP NOODLES」を発売開始
- **インドネシア** 今期から新規連結
JV解消後、積極的な技術導入を推進。
16年4月にインドネシア向け「CUP NOODLES」発売



通期経営方針

- **インド**
Maggi問題から早期回復とシェア変動期に積極投資を行うことでシェア拡大を図る
8大都市を中心とした「CUP NOODLES」の売上拡大
- **タイ**
「CUP NOODLES」の若者へのアプローチ
- **シンガポール**
カップ/ボウルの強化による収益基盤の安定
- **ベトナム**
大都市エリアへの営業集中による効率改善・赤字圧縮
「CUP NOODLES」の育成
- **インドネシア** … 今期から新規連結
ミニマート業態での「CUP NOODLES」、「U.F.O.」などを始めとした高価格帯商品の導入・定着

EMEA地域

売上拡大に伴う生産体制の強化

上期状況

- **欧州** 前期比 / 売上 増収 営業利益 増益
欧州地域で展開している「CUP NOODLES」「Soba」「出前一丁」ブランドが好調
- **トルコ** 前期比 / 売上 減収 営業損失 改善
営業体制と商品戦略を見直し

通期経営方針

- **欧州**
 - ✓ 安定した経営基盤の構築
 - ✓ 新規マーケットの拡大
 - ✓ 英国プレミアフーズとの協業の検討
- **トルコ**
 - ✓ 「MakarNecks」の配荷の維持と営業体制の見直し

EARTH FOOD CREATOR

* インドの昨年実績は1-6月、今期は4-9月

※売上・利益の前年比は現地通貨ベース(現地データに基づく)





日清食品ホールディングス株式会社

EARTH FOOD CREATOR



MEMO

**2016年度（2017年3月期）
第2四半期累計（6か月）決算
補足資料**

ページ

連結損益計算書	
1.2015年度実績と2016年度期初計画	1
2.2016年度期初計画と2016年度修正計画	1
3.2015年度実績と2016年度修正計画	1
4. 連結損益計算書（2016年度2Q累計）	2
セグメント別業績	
1.セグメント別業績 売上(年度別・四半期別)	3
2.セグメント別業績 営業利益・営業利益率(年度別・四半期別)	4
連結期間等	
1.決算期	5
2.主な新規連結対象会社	5
3.主な出資比率の変更の会社	5
4.持分法適用会社の実績・四半期別	5
営業利益の増減要因	
1.営業利益の増減分析(四半期)	6
2.営業利益の増減予想(年度)	6
為替レート等	
1.各国為替レート(2Q累計)	7
2.為替レート影響を除外した海外事業の実績(2Q累計)	7
(参考)各国為替レート想定(年度)	8
(参考)退職給付会計の影響	8
(参考)減価償却方法変更の影響(2Q累計実績と年間計画)	8
連結貸借対照表(四半期)	9
連結損益計算書及び連結キャッシュフロー計算書(四半期)	
1.連結損益計算書(四半期)	10
2.連結キャッシュフロー計算書(四半期)	10
新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェストその1	11
新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェストその2	12
主要経営指標(年間)	13
ヒストリカルデータ	
1.営業利益推移・調整後営業利益推移	14
2.親会社株主に帰属する当期純利益・(調整後)EPS推移	14
3.自己資本と自己資本利益率(ROE)推移	14
4.設備投資・減価償却費	15
5.配当金・配当性向	15
6.期末の時価総額とPER	15
主な日清食品グループ海外進出企業	16
IR関連リリース・トピックス	17
(参考)前中期経営計画2015(2013年4月発表)ダイジェスト結果	18
即席めん業界資料	
国内即席めん類の袋めん・カップめん 総生産数量推移	19
主要製品 レギュラー製品量販店平均売価(税込)推移	19
国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移	20
即席めんの世界市場(地域別)	21
国内各事業の市場データ	22

連結損益計算書

1. 2015年度実績と2016年度期初計画

単位: 億円

項 目	2015年度実績			2016年度期初計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,179	2,501	4,681	2,400	2,600	5,000	+221	+99	+319	+10.1%	+3.9%	+6.8%
営業利益	124	140	264	90	180	270	▲34	+40	+6	-27.4%	+28.6%	+2.3%
調整後営業利益 ^{※1}	115	132	247	113	203	315	▲2	+71	+69	-1.7%	+53.6%	+27.9%
経常利益	161	146	307	115	195	310	▲46	+49	+3	-28.5%	+33.2%	+0.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	108	161	269	105	115	220	▲3	▲46	▲49	-2.9%	-28.4%	-18.2%

※1: 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響

2. 2016年度期初計画と2016年度修正計画

単位: 億円

項 目	2016年度期初計画			2016年度修正計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,400	2,600	5,000	2,358	2,642	5,000	▲42	+42	—	-1.7%	+1.6%	—
営業利益	90	180	270	117	161	278	+27	▲19	+8	+30.4%	-10.8%	+3.0%
調整後営業利益 ^{※1}	113	203	315	139	184	323	+27	▲19	+8	+23.6%	-9.2%	+2.5%
経常利益	115	195	310	138	177	315	+23	▲18	+5	+19.7%	-9.1%	+1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	105	115	220	122	103	225	+17	▲12	+5	+16.3%	-10.6%	+2.3%

※1: 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響

3. 2015年度実績と2016年度修正計画

単位: 億円

項 目	2015年度実績			2016年度修正計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,179	2,501	4,681	2,358	2,642	5,000	+179	+140	+319	+8.2%	+5.6%	+6.8%
営業利益	124	140	264	117	161	278	▲7	+21	+14	-5.3%	+14.7%	+5.3%
調整後営業利益 ^{※1}	115	132	247	139	184	323	+25	+52	+77	+21.5%	+39.4%	+31.1%
経常利益	161	146	307	138	177	315	▲23	+31	+8	-14.4%	+21.1%	+2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	108	161	269	122	103	225	+14	▲58	▲44	+12.9%	-36.0%	-16.3%

※1: 調整後営業利益＝営業利益－退職給付会計の影響

連結損益計算書

4. 連結損益計算書（2016年度2Q累計）

単位：億円

項 目	2015年度2Q累計		2016年度2Q累計		前年同期比		
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	比率	
1 売上高	2,179	100.0%	2,358	100.0%	+179	+8.2%	
2 売上原価	1,220	56.0%	1,288	54.6%	+69	+5.6%	
	退職給付費用影響額(原価分)	△ 3	-0.2%	8	0.3%	+11	-
	売上原価計	1,216	55.8%	1,296	54.9%	+80	+6.5%
3 売上総利益	963	44.2%	1,063	45.1%	+99	+10.3%	
4 売上総利益	拡促費	374	17.2%	417	17.7%	+43	+11.4%
	広告宣伝費	78	3.6%	83	3.5%	+5	+5.8%
	物流費	137	6.3%	149	6.3%	+12	+8.6%
	退職給付費用影響額(販管費)	△ 6	-0.3%	14	0.6%	+20	-
	一般経費	255	11.7%	282	12.0%	+27	+10.5%
	販売費及び一般管理費計	839	38.5%	945	40.1%	+106	+12.6%
5 営業利益	124	5.7%	117	5.0%	▲7	-5.3%	
6 営業利益	受取利息	4	0.2%	4	0.2%	+0	+6.5%
	受取配当金	8	0.4%	9	0.4%	+1	+13.6%
	有価証券売却益	8	0.4%	10	0.4%	+2	+27.7%
	持分法による投資利益	15	0.7%	6	0.3%	▲9	-56.9%
	その他	6	0.3%	4	0.2%	▲2	-32.3%
	営業外収益計	41	1.9%	34	1.4%	▲7	-16.9%
	支払利息	1	0.1%	2	0.1%	+1	+37.0%
	為替差損	1	0.1%	10	0.4%	+8	+611.7%
	その他	1	0.1%	2	0.1%	+1	+85.7%
	営業外費用計	4	0.2%	14	0.6%	+10	+248.1%
7 経常利益	161	7.4%	138	5.8%	▲23	-14.4%	
8 経常利益	固定資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	▲0	-32.1%
	投資有価証券売却益	9	0.4%	68	2.9%	+59	+648.4%
	その他	—	—	0	0.0%	+0	-
	特別利益計	9	0.4%	69	2.9%	+59	+627.8%
	固定資産廃棄損	2	0.1%	1	0.0%	▲1	-33.7%
	減損損失	—	—	5	0.2%	+5	-
	貸倒損失	5	0.2%	—	—	▲5	-100.0%
	火災による損失	—	—	5	0.2%	+5	-
	関係会社株式評価損	—	—	4	0.2%	+4	-
	契約変更による精算金	—	—	5	0.2%	+5	-
	その他	0	0.0%	0	0.0%	+0	+93.5%
	特別損失計	7	0.3%	21	0.9%	+14	+209.7%
	9 税金等調整前四半期純利益	164	7.5%	186	7.9%	+22	+13.4%
10 法人税等	55	2.5%	62	2.6%	+7	+12.7%	
11 四半期純利益	109	5.0%	124	5.2%	+15	+13.8%	
12 非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0.0%	2	0.1%	+1	+211.8%	
13 親会社株主に帰属する四半期純利益	108	5.0%	122	5.2%	+14	+12.9%	
14 四半期包括利益	66	3.0%	△ 178	-7.6%	▲245	-	

注：記載金額については、千円単位で算出し、億円未満を四捨五入で表示。

セグメント別業績 売上

1. セグメント別・年度別 売上

単位: 億円

事業概要	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	15実績VS14実績		2016年度 期初計画※	16期初VS15実績	
					差異	増減率		差異	増減率
日清食品 即席種	2,008	2,109	2,158	2,236	+78	+3.6%	2,283	+47	+2.1%
明星食品 即席種	393	396	392	416	+24	+6.2%	429	+13	+3.1%
低温(チルド・冷凍)	526	548	566	598	+32	+5.6%	605	+7	+1.2%
菓子・飲料※1,2,3	340	361	343	386	+43	+12.5%	490	+104	+27.0%
国内その他※3,4	25	26	30	35	+6	+19.7%	31	▲4	-12.3%
国内計	3,292	3,439	3,488	3,671	+183	+5.3%	3,838	+167	+4.5%
米州地域※5 即席種	259	322	357	483	+125	+35.1%	600	+117	+24.3%
中国地域 即席種他	208	299	345	409	+64	+18.5%	421	+12	+3.0%
アジア地域※3,6 即席種	40	55	78	72	▲6	-8.0%	89	+17	+23.7%
EMEA地域※3 即席種	27	60	47	46	▲1	-2.1%	52	+6	+13.5%
海外計	535	737	828	1,009	+182	+22.0%	1,162	+153	+15.1%
売上 グループ計	3,828	4,176	4,316	4,681	+365	+8.5%	5,000	+319	+6.8%

※: 修正計画の売上の各セグメント毎の詳細な開示はありません。

※1: 日清シスコ、日清ヨーク、ぼんち
 ※2: ぼんちは2016年第1四半期より菓子・飲料セグメントに含めています。
 ※3: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
 ※4: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
 ※5: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。
 ※6: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含めています。

2. セグメント別・四半期別 売上

単位: 億円

事業概要	2015年度				2016年度				累計	2016VS2015(差異・増減率)						
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q	2Q累計		
日清食品 即席種	485	532	659	560	518	534			1,052	+33	+6.8%	+3	+0.5%		+36	+3.51%
明星食品 即席種	99	101	114	102	100	101			201	+1	+1.2%	▲0	-0.4%		+1	+0.4%
低温(チルド・冷凍)	148	152	151	146	150	156			306	+2	+1.1%	+4	+2.4%		+5	+1.8%
菓子・飲料※1,2,3	100	98	91	96	131	132			263	+31	+30.9%	+34	+34.2%		+65	+32.5%
国内その他※3,4	10	9	8	9	9	9			19	▲0	-3.1%	+1	+6.6%		+0	+1.6%
国内計	842	892	1,024	913	908	932			1,840	+66	+7.9%	+40	+4.5%		+107	+6.1%
米州地域※5 即席種	80	100	149	153	128	148			276	+48	+59.5%	+47	+46.9%		+95	+52.5%
中国地域 即席種他	97	108	97	107	84	91			175	▲13	-13.2%	▲18	-16.3%		▲30	-14.9%
アジア地域※3,6 即席種	19	18	14	20	23	22			45	+3	+18.1%	+4	+20.6%		+7	+19.3%
EMEA地域※3 即席種	12	10	11	12	12	11			23	+0	+3.9%	+0	+3.0%		+1	+3.4%
海外計	208	238	272	292	247	271			518	+39	+18.8%	+33	+14.1%		+72	+16.3%
売上 グループ計	1,049	1,130	1,296	1,205	1,155	1,204			2,358	+105	+10.0%	+74	+6.5%		+179	+8.2%

※1: 日清シスコ、日清ヨーク、ぼんち
 ※2: ぼんちは2016年第1四半期より菓子・飲料セグメントに含めています。
 ※3: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
 ※4: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
 ※5: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。
 ※6: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含めています。

セグメント別業績 営業利益・営業利益率

1. セグメント別・年度別 営業利益・営業利益率 : 上段:営業利益、下段:営業利益率

単位:億円

	事業概要	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	15実績VS14実績		2016年度		16年計画VS15実績	
						差異	増減率	計画*	差異	増減率	
日清食品	即席種	238	257	236	240	+3	+1.4%	267	+27	+11.3%	
		11.9%	12.2%	11.0%	10.7%	-0.2%		11.7%	+1.0%		
明星食品	即席種	17	20	14	14	▲1	-3.6%	21	+8	+54.7%	
		4.4%	5.0%	3.6%	3.3%	-0.3%		5.0%	+1.7%		
低温(チルド・冷凍)	即席種	8	5	△ 2	7	+9	-	13	+6	+78.4%	
		1.6%	0.9%	-0.4%	1.2%	+1.6%		2.1%	+0.9%		
菓子・飲料※1,2,3	即席種	6	12	13	13	▲0	-1.3%	27	+14	+108.2%	
		1.7%	3.3%	3.8%	3.4%	-0.5%		5.5%	+2.1%		
国内その他※3,4	即席種	△ 2	0	△ 1	△ 2	▲1	-	14	+15	-	
		-8.5%	1.8%	-2.5%	-5.5%	-3.0%		43.7%	+49.2%		
国内計	即席種	267	293	261	272	+11	+4.0%	341	+70	+25.7%	
		8.1%	8.5%	7.5%	7.4%	-0.1%		8.9%	+1.5%		
米州地域※6	即席種	2	5	7	11	+4	+60.1%	23	+13	+120.0%	
		0.9%	1.7%	1.9%	2.2%	+0.3%		3.9%	+1.7%		
中国地域	即席種	18	28	33	41	+9	+26.4%	35	▲6	-15.6%	
		8.8%	9.5%	9.5%	10.1%	+0.6%		8.3%	-1.8%		
アジア地域※3,7	即席種	△ 5	△ 16	△ 22	△ 20	+2	-	△ 16	+4	-	
		-11.3%	-28.3%	-28.2%	-27.9%	+0.3%		-18.4%	+9.5%		
EMEA地域※3	即席種	2	△ 2	△ 1	△ 4	▲2	-	1	+4	-	
		7.2%	-3.8%	-2.7%	-8.0%	-5.4%		1.2%	+9.2%		
海外計	即席種	18	16	16	28	+12	+76.0%	43	+14	+50.4%	
		3.4%	2.2%	1.9%	2.8%	+0.9%		3.7%	+0.9%		
のれん償却及びセグメント間取引消去等※5		△ 10	△ 6	△ 6	△ 12	▲6	-	△ 22	▲10	-	
グループ関連費用※5		△ 30	△ 33	△ 39	△ 41	▲2	-	△ 47	▲6	-	
調整後営業利益※8計		245	270	232	247	+15	+6.3%	315	+69	+27.9%	
		6.4%	6.5%	5.4%	5.3%	-0.1%		6.3%	+1.0%		
退職給付会計の影響※5		△ 5	7	11	17	+6	+58.1%	△ 45	▲63	-	
営業利益		240	277	243	264	+21	8.6%	270	+6	+2.3%	
グループ計		6.3%	6.6%	5.6%	5.6%	+0.0%		5.4%	-0.2%		

※: 修正計画は営業利益は期初計画比で日清食品で+10億円、日清食品以外の国内会社で-2億円を計画。

※1: 日清シスコ、日清ヨーク、ぼんち

※2: ぼんちは2016年第1四半期より菓子・飲料セグメントに含めています。

※3: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。

※4: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等

※5: 「決算短信」においては「調整額」に含めています。

※6: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。

※7: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含めています。

※8: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

2. セグメント別・四半期別 営業利益

単位:億円

	事業概要	2015年度				2016年度				累計	2016VS2015(差異・増減率)						
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q	2Q累計		
日清食品	即席種	46	58	96	40	61	46		108	+16	+34.9%	▲12	-20.0%			+4	+4.3%
明星食品	即席種	8	3	5	△ 2	4	3		7	▲4	-51.8%	▲0	-1.0%			▲4	-37.1%
低温(チルド・冷凍)	即席種	3	1	3	0	6	5		11	+3	+129.5%	+3	+235.9%			+7	+167.4%
菓子・飲料※1,2,3	即席種	5	3	3	2	10	7		17	+5	+118.3%	+5	+177.8%			+10	+139.9%
国内その他※3,4	即席種	△ 0	1	0	△ 3	3	6		9	+3	-	+6	+583.9%			+9	+1,302.5%
国内計	即席種	61	66	107	38	84	68		152	+24	+38.7%	+2	+3.1%			+26	+20.2%
米州地域※6	即席種	△ 2	4	0	8	6	1		7	+8	-	▲3	-75.2%			+5	+241.2%
中国地域	即席種	9	10	8	15	8	10		18	▲1	-9.5%	+0	+4.2%			▲0	-2.1%
アジア地域※3,7	即席種	△ 4	△ 5	△ 6	△ 5	△ 2	△ 3		△ 5	+2	-	+2	-			+4	-
EMEA地域※3	即席種	△ 0	△ 1	△ 0	△ 2	1	0		1	+1	-	+1	-			+2	-
海外計	即席種	2	8	2	16	13	9		22	+11	+588.0%	+1	+7.8%			+12	+111.7%
のれん償却及びセグメント間取引消去等※5		△ 1	△ 1	△ 5	△ 5	△ 6	△ 5		△ 11	▲5	-	▲5	-			▲10	-
グループ関連費用※5		△ 10	△ 10	△ 10	△ 10	△ 12	△ 12		△ 23	▲1	-	▲1	-			▲3	-
調整後営業利益※8計		51	63	94	38	79	60		139	+28	+54.2%	▲3	-5.2%			+25	+21.5%
退職給付会計の影響※5		5	5	5	3	△ 11	△ 11		△ 22	▲16	-	▲16	-			▲31	-
営業利益グループ計		56	68	99	41	68	49		117	+12	+21.8%	▲19	-27.7%			▲7	-5.3%

※1: 日清シスコ、日清ヨーク、ぼんち

※2: ぼんちは2016年第1四半期より菓子・飲料セグメントに含めています。

※3: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。

※4: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等

※5: 「決算短信」においては「調整額」に含めています。

※6: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。

※7: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含めています。

※8: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

連結期間等

1. 決算期

3月決算

日清食品 明星食品 日清食品チルド 日清食品冷凍
日清シスコ 日清ヨーク
国内その他(日清食品HD 日清食品アセットマネジメント等)
米国 メキシコ ブラジル
香港 中国大陸(中国地域は2015年度より3月決算に移行)
インド(アジア地域ではインドのみ2016年度より3月決算に移行)

3月決算

1Q	2Q	3Q	4Q
4-6月	7-9月	10-12月	1-3月

12月決算

ぼんち(本来のぼんちの決算月は6月)
コロンビア シンガポール ベトナム タイ インドネシア
欧州各国(拠点ドイツ) トルコ

12月決算

1Q	2Q	3Q	4Q
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月

2. 主な新規連結対象会社(2015年度以降)

2015年度第1四半期より
浙江日清(中国地域)
2015年度第3四半期より
ブラジル
2016年度第1四半期より
ぼんち インドネシア

3. 主な出資比率の変更の会社(2015年度以降)^{※1}

三菱商事との戦略的アライアンス

2015年11月17日に投資比率が100%から66%へ減少
シンガポール
2015年12月3日に投資比率が100%から66%へ減少
タイ
2016年4月1日に投資比率が100%から66%へ減少
インドネシア
2016年5月27日に投資比率が100%から66%へ減少
インド

※1: 下記4. 持分法適用会社の実績・四半期別の※で記載の会社を除く

4. 持分法適用会社の実績・四半期別

単位: 億円

	拠点国	持分比率 ^{※7}	2015年度					2016年度					
			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
(株)フレンテ ^{※1}	日本	34.53%	△0	0	△1	1	1	0	△0				△0
ぼんち(株) ^{※2}	日本	30.00%	0	0	0	0	2						
BNA ^{※3}	ブラジル	50.00%	2	2			4						
タイフレンテ ^{※4}	タイ	21.13%	2	3	4	3	13	3	3				6
NURC ^{※5}	フィリピン	49.00%	1	0	1	1	3	1	1				2
マルハン ^{※6}	ロシア	33.50%	1	2	4	△1	6	△0	△1				△2
合計			6	9	7	5	28	4	3				6

※1: 2015年8月25日の追加取得により持分比率は33.41%から34.53%へ増加
2016年10月1日より榊湖池屋に名称変更

※2: 2016年1月29日に追加取得により持分比率は30%から50.1%に増加、2016年第1Qより連結子会社化

※3: 正式名: ニッソ・アジア・モ・アライメント Lt. (2015年度第3Qよりニッソ・アジア・モ・アライメント Lt.として連結子会社化)

※4: 正式名: タイフレンテ・パブ・コ., Ltd.

※5: 正式名: ニッソ・ユニバーサルピナ Corporation (2015年度1Qより持分法適用会社化)

※6: 正式名: マルハン・ホールディングス Lt.

※7: 現在連結子会社については連結前の持分比率、現在も持分法の会社は2016年3月末の持分比率を表示

営業利益の増減要因

1. 営業利益の増減分析(四半期)

単位:億円

1Q(3ヵ月)

国内外	15年度 営業 利益	変動費				固定費				営業 利益 増減計	16年度 営業 利益
		売上高 変動	原価率 変動	拡促費 比率変動	物流費 比率変動	減価 償却費 増減※2	広告 宣伝費 増減	一般 管理費 増減	退職給付 会計の 影響		
国内 計	61	+17	+8	▲8	▲1	+4	+7	▲3	-	+24	84
海外 計	2	+7	+7	+0	+2	▲1	+0	▲5	-	+11	13
調整額	△7	+1	▲3	+2	▲0	▲1	-	▲5	▲16	▲22	△29
※1 計	56	+25	+11	▲6	+1	+3	+7	▲13	▲16	+12	68

2Q(3ヵ月)

国内 計	66	+10	+7	▲8	▲2	+5	▲5	▲3	-	+2	68
海外 計	8	+7	+4	+0	+1	▲1	▲6	▲5	-	+1	9
調整額	△6	+1	▲2	+2	▲0	▲1	-	▲5	▲16	▲21	△28
※1 計	68	+17	+8	▲6	▲1	+3	▲11	▲13	▲16	▲19	49

3Q(3ヵ月)

国内 計											
海外 計											
調整額											
※1 計											

4Q(3ヵ月)

国内 計											
海外 計											
調整額											
※1 計											

第2四半期累計(6ヵ月)

国内 計	127	+26	+15	▲16	▲3	+9	+2	▲6	-	+26	152
海外 計	10	+14	+11	+1	+3	▲1	▲6	▲9	-	+12	22
調整額	△13	+2	▲6	+4	▲0	▲2	-	▲10	▲31	▲44	△57
※1 計	124	+42	+20	▲12	▲0	+6	▲5	▲26	▲31	▲7	117

2. 営業利益の増減予想(年度)

単位:億円

国内外	15年度 営業 利益	変動費				固定費				営業 利益 増減計	16年度 営業 利益 期初 計画※3
		売上高 変動	原価率 変動	拡促費 比率変動	物流費 比率変動	減価 償却費 増減※2	広告 宣伝費 増減	一般 管理費 増減	退職給付 会計の 影響		
国内 計	272	+49	+15	+7	▲0	+20	+5	▲26	-	+70	341
海外 計	28	+36	+22	▲16	+6	▲6	▲9	▲19	-	+14	43
調整額	△36	+5	▲16	+10	▲0	▲2	-	▲11	▲63	▲78	△114
※1 計	264	+89	+20	+2	+6	+12	▲4	▲56	▲63	+6	270

※1: 分析手法が前期との率による比較のため、各セグメントの利益の増減要因の変動費と小計(国内・海外)・総計は一致しないので「調整額」を使用しています。

※2: P8「減価償却方法変更の影響額」参照

※3: 修正計画に関して詳細な内容は非公表のため、期初計画を表示しております。

各国為替レート等

1. 各国為替レート(四半期)

単位:円

実績は期中平均(対象期間日割りレートの平均値)

使用通貨国	単位	2012年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	2014年度 2Q累計	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	前年比 ^{※1}	
連結子会社								
米州	米国	USD	79.74	95.59	103.04	121.80	105.29	-13.6%
	メキシコ	MXN	6.03	7.62	7.90	7.69	5.73	-25.5%
	コロンビア	COP				0.05	0.04	-26.2%
	ブラジル	BRL	42.90	47.06	45.76	37.10	31.18	-16.0%
中国	香港	HKD	10.28	12.32	13.21	15.71	13.57	-13.6%
	中国	CNY	12.63	15.34	16.65	19.44	15.94	-18.0%
アジア	シンガポール	SGD	63.10	76.86	81.28	89.08	80.89	-9.2%
	インド	INR	1.55	1.76	1.70	1.93	1.59	-17.6%
	タイ	THB	2.56	3.21	3.15	3.65	3.15	-13.7%
	ベトナム	VND		0.00457	0.00485	0.00558	0.00500	-10.4%
	インドネシア	IDR					0.00835	-
EMEA	欧州	EUR	103.45	125.50	140.43	134.17	124.62	-7.1%
	トルコ	TRY		52.75	47.42	47.06	38.25	-18.7%
持分法適用会社								
アジア	フィリピン	PHP				2.72	2.40	-11.8%
EMEA	ロシア	RUB	2.62	3.08	2.93	2.10	1.60	-23.8%

※1: マイナス表記が円高、プラス表記が円安

2. 為替レート影響を除外した海外事業の実績(2Q累計)

単位:億円

	15年度 2Q累計 実績	16年度 2Q累計 実績①	2015年度2Q累計比		為替 影響額	16年度 2Q累計実績②	2015年度2Q累計比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
米州地域	181	304	+123	+68.0%	▲28	276	+95	+52.5%
中国地域	205	208	+3	+1.5%	▲34	175	▲30	-14.9%
アジア地域	38	52	+14	+36.7%	▲7	45	+7	+19.3%
EMEA地域	22	25	+3	+12.3%	▲2	23	+1	+3.4%
売上高 計	446	588	+143	+32.0%	▲70	518	+72	+16.3%
米州地域	2	8	+5	+248.2%	▲0	7	+5	+241.2%
中国地域	19	22	+3	+17.1%	▲4	18	▲0	-2.1%
アジア地域	△ 9	△ 5	+4	-	+1	△ 5	+4	-
EMEA地域	△ 1	1	+2	-	+0	1	+2	-
営業利益 計	10	25	+14	+137.6%	▲3	22	+12	+111.7%

16年度2Q累計実績①=16年度2Q累計現地通貨実績×15年度2Q累計実績レート

但し、新規連結会社においては前年実績がないため今期レートを使用

16年度累計実績2Q②(公表値)=16年度2Q累計現地通貨実績×16年度2Q累計実績レート

(参考)各国為替レート想定(年度)

実績は期中平均(対象期間日割りレートの平均値)

使用通貨国	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 期初計画※1	前年比※1	
連結子会社									
米州	米国	USD	79.84	79.82	97.65	109.93	120.14	112.7	-6.6%
	メキシコ	MXN	6.46	6.08	7.66	8.01	7.26	6.5	-11.2%
	コロンビア	COP				0.05	0.04	0.04	-18.3%
	ブラジル	BRL	47.85	41.00	45.38	44.57	30.60	28.0	-9.3%
中国	香港	HKD	10.26	10.29	12.59	13.65	15.49	14.5	-6.6%
	中国	CNY	12.35	12.65	15.79	17.19	18.85	17.4	-8.4%
アジア	シンガポール	SGD	63.54	63.91	78.03	83.51	88.10	85.4	-3.2%
	インド	INR	1.74	1.51	1.69	1.75	1.90	1.8	-4.4%
	タイ	THB	2.62	2.57	3.18	3.26	3.54	3.3	-6.0%
	ベトナム	VND			0.00464	0.00499	0.00553	0.0053	-3.6%
	インドネシア	IDR						0.0088	-
EMEA	欧州	EUR	111.12	102.63	129.68	140.42	134.31	131.8	-1.9%
	トルコ	TRY			51.38	48.43	44.71	41.5	-7.8%
持分法適用会社									
アジア	フィリピン	PHP					2.68	2.6	-4.3%
EMEA	ロシア	RUB	2.73	2.58	3.07	2.79	2.00	1.7	-19.8%

※1: マイナス表記が円高、プラス表記が円安

(参考)退職給付会計の影響

単位: 億円

	営業利益	退職給付会計 の影響	調整後 営業利益※1
2000年度	273	△ 5	278
2001年度	248	△ 25	273
2002年度	264	△ 14	278
2003年度	232	△ 55	287
2004年度	290	△ 15	305
2005年度	320	3	317
2006年度	337	40	297
2007年度	277	△ 1	278
2008年度	236	△ 67	303
2009年度	273	△ 72	346
2010年度	345	40	305
2011年度	262	△ 6	268
2012年度	240	△ 5	245
2013年度	277	7	270
2014年度	243	11	232
2015年度	264	17	247
2016年度期初計画	270	△ 45	315
2016年度修正計画	278	△ 45	323

退職給付会計の影響とは

当社及び国内子会社は確定給付型年金制度及び退職一時金制度を採用しています。期初に想定していた運用による収益に対して、実績との乖離が発生した場合や退職給付債務の見積もりを用いる割引率等の見直しが生じた場合に、数理計算上の差異が発生します。当社はこれらの差異について翌年度に一括して費用処理しています。従いまして、その運用状況次第では損益に影響が出る可能性があります。上記の「調整後営業利益」というのは、退職給付引当繰入額とそれらの影響を除いたベースの営業利益です。

←厚生年金基金の代行部分の返上を実施

←予測値

←予測値

※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

(参考)減価償却方法変更の影響(2Q累計実績と年間計画)

2016年度より国内の減価償却の計算方法を「定額法」に変更

2Q累計実績 単位: 億円

・決算短信上の開示数値

	1Q	2Q	累計	
PL	日清食品	+2	+5	+7
	明星食品	+1	+2	+3
	低温	+0	+1	+1
	菓子・飲料	+1	+1	+2
	その他	+1	+1	+2
PL影響計	+5	+9	+14	
BS	棚卸資産	+2	+0	+2
	合計	+7	+10	+17

・前期末簿価を定率法と定額法で計算し差額を算出
 ・今期から償却を開始する設備を定率法と定額法で計算し、差額を算出
 ・BS棚卸資産の四半期の数値は累計額から差し引きした金額を表示

年間計画 単位: 億円

・2016年5月12日決算発表時の開示数値

	影響額
日清食品	+21
明星食品	+7
低温	+3
菓子・飲料	+5
その他	+4
合計	+40

・前期末簿価を定率法と定額法で計算し差額を算出

・今期から償却を開始する設備を定率法と定額法で計算し、差額を算出

※事業計画策定時はB/Sへの影響を考慮せず。

連結貸借対照表(四半期)

単位:億円

連結貸借対照表	14年度	15年度				16年度				対前期末 比増減	対前期末比の主な増減要因
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
資産の部											
現金及び預金	944	1,102	876	891	871	654	586			▲285	投資有価証券の取得による
受取手形及び売掛金	545	498	557	684	614	535	604			▲10	
有価証券	192	39	184	35	38	38	43			+5	
商品及び製品	120	137	127	132	124	149	138			+14	
原材料及び貯蔵品	111	122	123	141	147	142	150			+3	
その他	109	123	117	209	118	140	136			+18	
貸倒引当金	△ 4	△ 4	△ 4	△ 3	△ 3	△ 3	△ 3			+0	
流動資産合計	2,015	2,016	1,979	2,089	1,909	1,656	1,654			▲255	
有形固定資産	1,472	1,501	1,555	1,626	1,689	1,702	1,743			+54	
無形固定資産	82	83	79	419	423	424	408			▲15	
投資その他の資産	1,558	1,577	1,553	1,619	1,510	1,532	1,273			▲236	有価証券の売却及び時価評価による
固定資産合計	3,112	3,161	3,187	3,664	3,621	3,659	3,424			▲197	
資産合計	5,127	5,177	5,166	5,753	5,531	5,315	5,078			▲452	
負債の部											
支払手形及び買掛金	449	457	461	572	513	489	484			▲29	
短期借入金	39	32	31	334	185	186	31			▲154	短期借入金の返済による
未払金	271	259	273	319	313	288	298			▲15	
未払法人税等	52	39	62	74	73	42	69			▲4	
その他	220	186	184	213	225	215	227			+2	
流動負債合計	1,030	973	1,012	1,511	1,309	1,220	1,108			▲201	
長期借入金	95	128	122	129	130	159	152			+22	子会社における借入金増
退職給付に係る負債	34	31	30	28	80	78	77			▲3	
その他	270	278	258	323	295	266	226			▲69	
固定負債合計	399	437	410	479	505	504	455			▲50	
負債合計	1,429	1,410	1,422	1,990	1,814	1,724	1,563			▲251	
資本の部											
資本金	251	251	251	251	251	251	251			—	
資本剰余金	484	484	484	484	482	494	496			+14	
利益剰余金	2,733	2,761	2,814	2,899	2,938	2,920	3,012			+74	
自己株式	△ 217	△ 217	△ 217	△ 358	△ 358	△ 358	△ 353			+6	
株主資本合計	3,252	3,279	3,333	3,276	3,313	3,307	3,406			+94	
その他有価証券評価差額金	351	375	334	471	432	356	226			▲205	保有有価証券の時価評価による
繰延ヘッジ損益	1	1	0	△ 0	△ 3	△ 5	△ 3			▲0	
土地再評価差額金	△ 57	△ 57	△ 57	△ 64	△ 64	△ 64	△ 64			▲0	
為替換算調整勘定	60	73	43	△ 8	△ 46	△ 103	△ 154			▲109	為替変動による
退職給付に係る調整累計額	12	9	6	3	△ 32	△ 23	△ 17			+15	
その他の包括利益累計額合計	366	401	325	402	288	161	△ 11			▲299	
新株予約権	15	19	19	19	19	21	16			▲2	
非支配株主持分	66	68	68	65	98	102	104			+6	
純資産合計	3,699	3,767	3,744	3,763	3,717	3,591	3,515			▲202	
負債純資産合計	5,127	5,177	5,166	5,753	5,531	5,315	5,078			▲452	

連結損益計算書及び連結キャッシュフロー計算書(四半期)

1. 連結損益計算書(四半期)

単位: 億円

連結損益計算書	14年度	15年度					16年度				
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	4,316	1,049	1,130	1,296	1,205	4,681	1,155	1,204			2,358
売上総利益	1,887	465	499	590	523	2,076	522	540			1,063
営業利益	243	56	68	99	41	264	68	49			117
経常利益	330	83	77	115	31	307	71	67			138
税金等調整前四半期純利益	290	86	78	159	46	370	67	119			186
四半期純利益	187	54	54	123	38	269	31	93			124
親会社株主に帰属する四半期純利益	185	54	54	122	39	269	30	92			122

2. 連結キャッシュフロー計算書(四半期)

単位: 億円

連結キャッシュ・フロー計算書	14年度	15年度					16年度				
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	304	54	86	143	78	362	41	64			104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 48	△ 27	△ 114	△ 396	80	△ 458	△ 242	41			△ 202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 12	△ 5	123	△ 137	△ 30	2	△ 153			△ 151
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	6	△ 17	△ 7	△ 30	△ 49	△ 32	△ 23			△ 55
現金及び現金同等物の増減額	226	20	△ 49	△ 137	△ 8	△ 175	△ 231	△ 72			△ 303
現金及び現金同等物の四半期首残高	802	1,059	1,081	1,031	895	1,059	887	658			887
新規連結子会社による現金同等物増減額	26	-	-	1	-	1	2	-			2
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	6	1	-	-	-	1	0	-			0
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,059	1,081	1,031	895	887	887	658	586			586

新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト その1

1. 日清食品グループ理念 「EARTH FOOD CREATOR」

グローバルに「食」の楽しみや喜びを提供することで、社会や地球に貢献する。

2. 「EARTH FOOD CREATOR」の体現

2015年度(2016/3)	2020年度(2021/3)	長期ビジョン
グローバルカンパニー推進	グローバルカンパニー評価獲得	EARTH FOOD CREATOR 体現
海外売上比率:22%(実績) 海外営利比率:11%(実績)	海外営利比率:30%以上	海外営利比率:50%以上
ROE:7.4%(実績)	ROE:8%以上	ROE:10%以上
時価総額5,700億円(実績)	時価総額1兆円	

3. 2020年度数値目標(KPI)

		2015年度	2020年度	
		実績値	(参考値)	目標値
		日本会計基準	(日本会計基準)	IFRS基準
本業で稼ぐ力	売上高	4,681 億円	6,000 億円	5,500 億円
	調整後営業利益 ^{※1}	247 億円	400 億円	475 億円
資本市場価値	時価総額 ^{※2}	5,700 億円		1 兆円
	純利益 ^{※3}	269 億円		330 億円
	ROE	7.4 %		8 %以上
	調整後EPS ^{※4}	196 円	年平均成長率10%以上	330 円

※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

※2: 時価総額=株価×期末発行済株式数(自社株控除後)

※3: 日本会計基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」、IFRS基準における「親会社の所有者に帰属する純利益」

※4: 調整後EPS=調整後NOPAT^{※5}÷期中平均発行済株式数(自社株式控除後)

※5: 調整後NOPAT=税引後調整後営業利益+持分法損益

+のれん償却額(持分法に含まれているもの含む)-非支配株主に帰属する当期純利益

4. 財務政策

5年間の投資予算	設備投資額:1,500億円規模/事業投資額:1,000億円規模
株主還元方針	配当性向:期間平均40%以上

5. グローバルカンパニー評価獲得に向けた戦略

- ▶ グローバルブランディングの促進:海外の収益性向上のため、高付加価値のカップヌードルで海外展開加速
- ▶ 重点地域への集中:BRICs(中国・インド・ブラジル・ロシア)を重点地域とし、経営資源を集中投下し、利益成長を実現
- ▶ 国内収益基盤の盤石化:「国内即席めん市場の深耕」と食の安全性・省人化のための「工場高度化投資」で長期的な安定収益を実現
- ▶ 第2の収益の柱の構築:菓子・シリアル事業で売上高1,000億円規模を目指す/低温・飲料事業で国内での更なる利益成長
- ▶ グローバル経営人材の育成・強化:人材育成と外部からの人材雇用の両輪で、経営人材を増やし、グローバル経営を加速

新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト その2

6-1. 2020年数値目標【国内の事業】

		2015年度	2020年度 ^{※1,2}	
			計画	差異
即席めん	売上	2,652 億円	2,976 億円	+324 億円
	営業利益	253 億円	295 億円	+42 億円
	営業利益率	9.6 %	9.9 %	+0.3 %
低温菓子飲料	売上	984 億円	1,323 億円	+339 億円
	営業利益	20 億円	52 億円	+32 億円
	営業利益率	2.0 %	3.9 %	+1.9 %

※1:2020年度の数値目標は日本会計基準で計算されています。

※2:2020年日本会計基準の売上高6,000億・調整後営業利益400億と国内外の事業別合計の差額はHDとその他子会社などです。

6-2. 2020年数値目標【海外の事業】

		2015年度	2020年度 ^{※1,2}	
			計画	差異
米州	売上	483 億円	808 億円	+325 億円
	営業利益	11 億円	64 億円	+53 億円
	営業利益率	2.2 %	7.9 %	+5.7 %
中国・香港	売上	409 億円	537 億円	+128 億円
	営業利益	41 億円	51 億円	+10 億円
	営業利益率	10.1 %	9.5 %	-0.6 %
アジア	売上	72 億円	241 億円	+169 億円
	営業利益	△ 20 億円	5 億円	+25 億円
	営業利益率	- %	2.2 %	- %
EMEA	売上	46 億円	83 億円	+37 億円
	営業利益	△ 4 億円	8 億円	+12 億円
	営業利益率	- %	9.4 %	- %

※1:2020年度の数値目標は日本会計基準で計算されています。

※2:2020年日本会計基準の売上高6,000億・調整後営業利益400億と国内外の事業別合計の差額はHDとその他子会社などです。

7. 2020年度売上高・調整後営業利益目標達成に向けた各事業の方向性

◆国内事業

□即席麺

(日清食品)

-100年ブランドを目指して、新ターゲットへアプローチ及びブランド力強化
-省人化、安全・安心強化、コスト改善に向けた設備投資

(明星食品)

-コアブランド成長・新規ブランド育成

□低温

-技術・ブランド力を生かした高付加価値商品の拡大と利益率向上

□菓子・飲料

-菓子事業を第2の収益の柱へ

-「ごろグラ」の継続成長と、健康市場における乳酸菌飲料の拡大

◆海外事業

□米州

-ブラジルのカップ麺を中心とした大幅成長

-米国の多様化する食のニーズを意識した商品の拡販とブランドの強化

□中国・香港

-成長を続けるプレミアム市場での圧倒的NO.1の堅持

-エリア拡大とキャパ拡大投資の最適バランス

□アジア

-「カップヌードル」を軸とした高所得層へのアプローチ

-三菱商事㈱との協働

-国別に最適な戦略の実行

□EMEA

-欧州は安定基盤から収益拡大フェーズへの移行期

主要経営指標

指標	年度 3月期 単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
		2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (期初計画)
国内売上	百万円	322,349	329,676	329,248	343,931	348,821	367,142	383,800
海外売上	〃	52,582	50,998	53,544	73,689	82,755	100,941	116,200
◆ 売上高	百万円	374,932	380,674	382,793	417,620	431,575	468,084	500,000
(売上高伸長率)	%	1.0	1.5	0.6	9.1	3.3	8.5	6.8
(海外売上比率)	〃	14.0	13.4	14.0	17.6	19.2	21.6	23.2
(海外営業利益比率)	〃	8.3	2.7	6.4	5.2	5.8	9.4	11.2
売上原価	百万円	203,202	213,707	211,346	231,309	242,915	260,496	-
売上原価率	%	54.2	56.1	55.2	55.4	56.3	55.7	-
広告宣伝費比率	〃	3.5	2.9	2.9	2.8	2.9	3.1	-
物流費比率	〃	5.8	6.0	5.8	5.8	6.3	6.3	-
拡促費比率	〃	17.1	17.3	18.4	18.2	18.1	17.5	-
営業利益	百万円	34,537	26,211	23,954	27,705	24,300	26,399	27,000
◆ 調整後営業利益※1	〃	30,494	26,789	24,461	27,028	23,203	24,662	31,520
営業利益率	%	9.2	6.9	6.3	6.6	5.6	5.6	5.4
調整後営業利益率	%	8.1	7.0	6.4	6.5	5.4	5.3	6.3
経常利益	百万円	36,418	28,099	30,964	34,840	32,980	30,733	31,000
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益	〃	20,756	18,538	18,855	19,268	18,505	26,884	22,000
包括利益	〃	13,238	18,540	34,883	37,410	37,955	19,606	-
純資産額	百万円	277,595	286,657	315,026	342,300	369,852	371,688	-
総資産額	〃	409,748	414,717	446,132	479,469	512,743	553,068	-
自己資本比率	%	66.3	67.6	68.7	69.4	70.6	65.1	-
◆ 自己資本利益率(ROE)	〃	7.7	6.7	6.4	6.0	5.3	7.4	-
総資産利益率(ROA)	〃	5.1	4.5	4.4	4.2	3.7	5.0	-
EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費)	百万円	48,115	41,917	39,342	43,026	40,407	45,043	45,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	〃	29,258	32,604	32,045	30,213	30,353	36,183	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	〃	△ 33,440	△ 12,831	△ 31,251	△ 9,507	△ 4,840	△ 45,759	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	〃	△ 4,710	△ 9,442	△ 10,070	△ 8,525	△ 8,022	△ 3,010	-
期末発行済株式数	千株	110,668	110,172	110,191	110,221	110,231	108,025	-
期中平均発行済株式数	千株	110,665	110,367	110,189	110,216	110,229	109,500	-
1株当たり純資産(BPS)	円	2,454.67	2,545.31	2,782.25	3,018.82	3,282.02	3,332.94	-
1株当たり当期純利益(EPS)	〃	187.56	167.97	171.12	174.83	167.88	245.52	203.66
◆ 調整後1株当たり当期純利益(調整後EPS)※2	〃	183.39	168.30	173.29	195.63	177.86	195.89	250.58
期末(3月末)株価	円	2,932	3,095	4,385	4,655	5,910	5,290	-
◆ 時価総額	百万円	324,478	340,983	483,190	513,081	651,470	571,455	-
株価収益率(PER)	倍	15.6	18.4	25.6	26.6	35.2	21.5	-
年間配当金	円	70	75	75	75	75	80	80
配当性向	%	37.3	44.7	43.8	42.9	44.7	32.6	39.3
設備投資	百万円	30,810	18,936	21,582	27,527	22,959	32,785	43,900
減価償却費	〃	12,827	14,955	14,344	14,516	15,440	17,499	16,300
試験研究費(旧研究開発費)	〃	4,081	4,384	4,320	5,313	6,431	7,183	-

※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

※2: 調整後EPS=調整後NOPAT※3÷期中平均発行済株式数(自社株式控除後)

※3: 調整後NOPAT=税引後調整後営業利益+持分法損益+のれん償却額(持分法に含まれているもの含む)-非支配株主に帰属する当期純利益

※ 中期経営計画2020のKPIには◆をつけています。

※ 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 修正計画は詳細な内容は非開示のため期初計画を表示しています。

期末発行済株式数は自己株式数を除いております。

「国内売上」と「海外売上」は決算短信や有価証券報告書上の販売先の地域に基づき区分しており、

「セグメント別業績」とは基準が異なります。

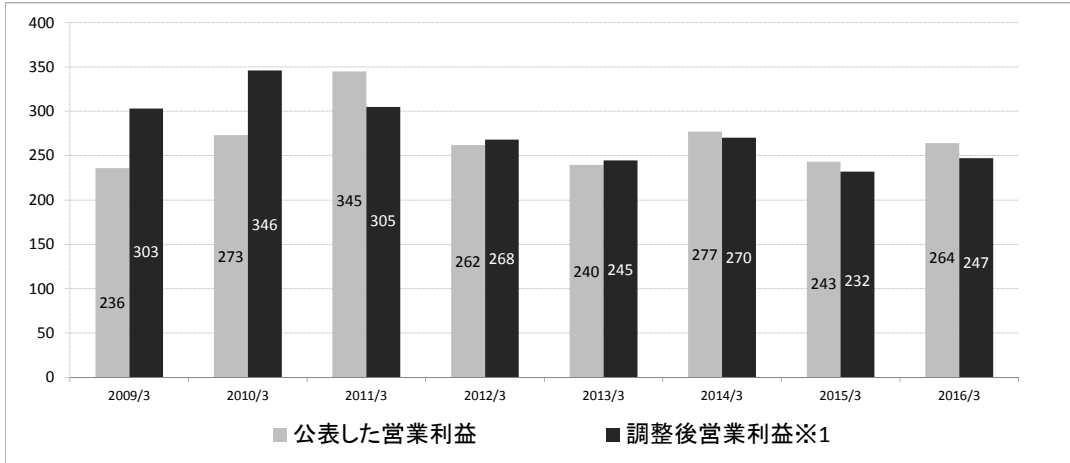
下記の当社HPサイトにおきまして、2007年3月期から直近年度までの貸借対照表・損益計算書(通期)をExcel形式でダウンロードいただけますので、どうぞご利用下さい。

<http://www.nissin.com/jp/ir/library/download/>

ヒストリカルデータ

1. 営業利益・調整後営業利益推移

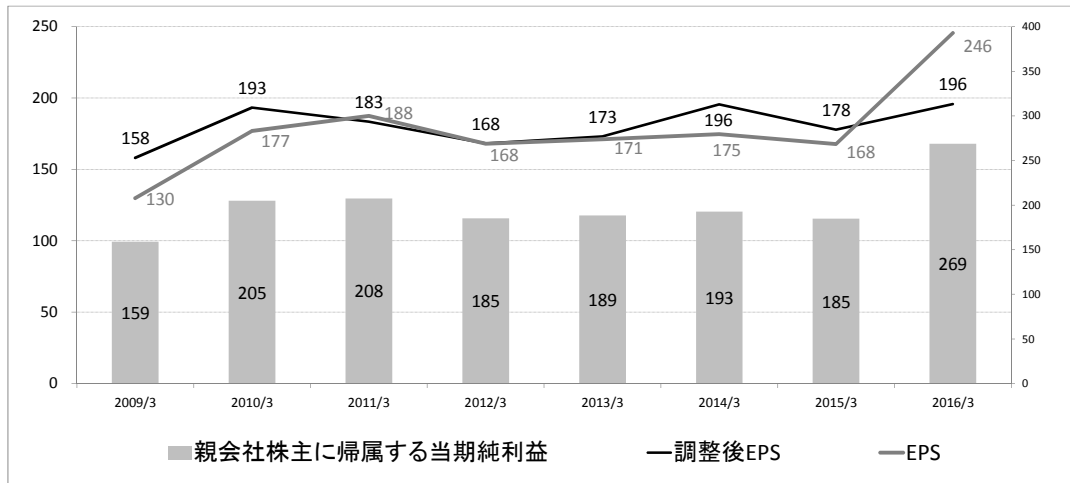
単位: 億円



※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

2. 親会社株主に帰属する当期純利益・(調整後)EPS^{※1}推移

単位: 億円/円(右目盛/折れ線グラフ)

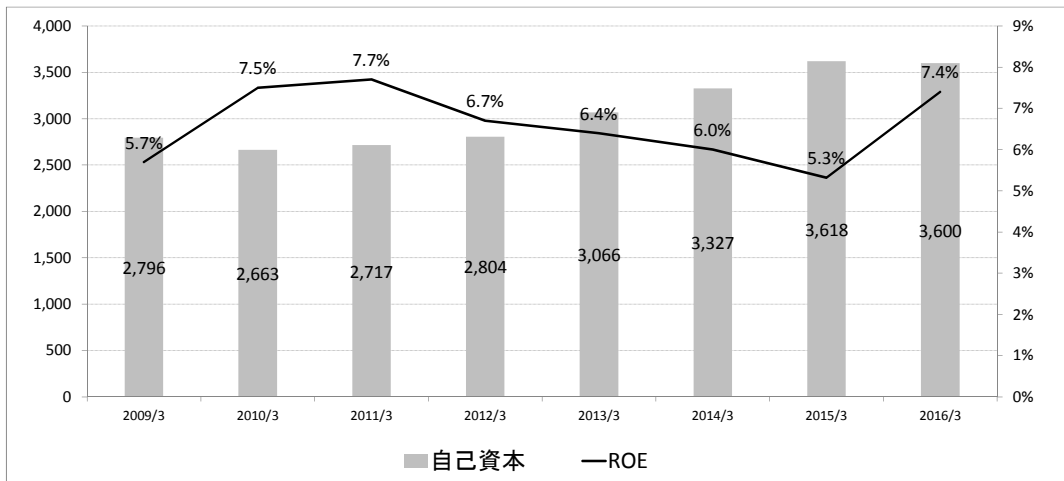


※1: 調整後EPS=調整後NOPAT^{※2}÷期中平均発行済株数(自社株式控除後)

※2: 調整後NOPAT=税引後調整後営業利益+持分法損益+のれん償却額(持分法に含まれているもの含む)-非支配株主に帰属する当期純利益

3. 自己資本と自己資本当期純利益率(ROE)推移

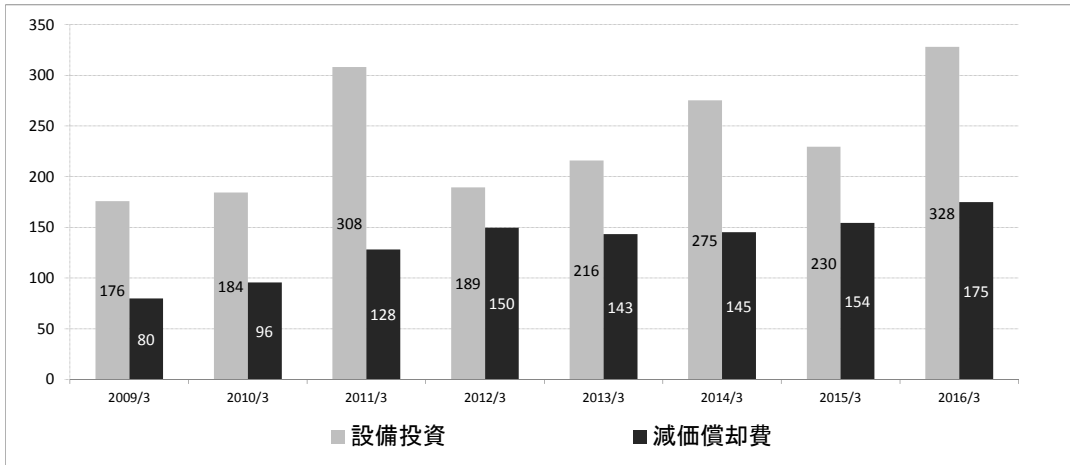
単位: 億円/%(右目盛/折れ線グラフ)



ヒストリカルデータ

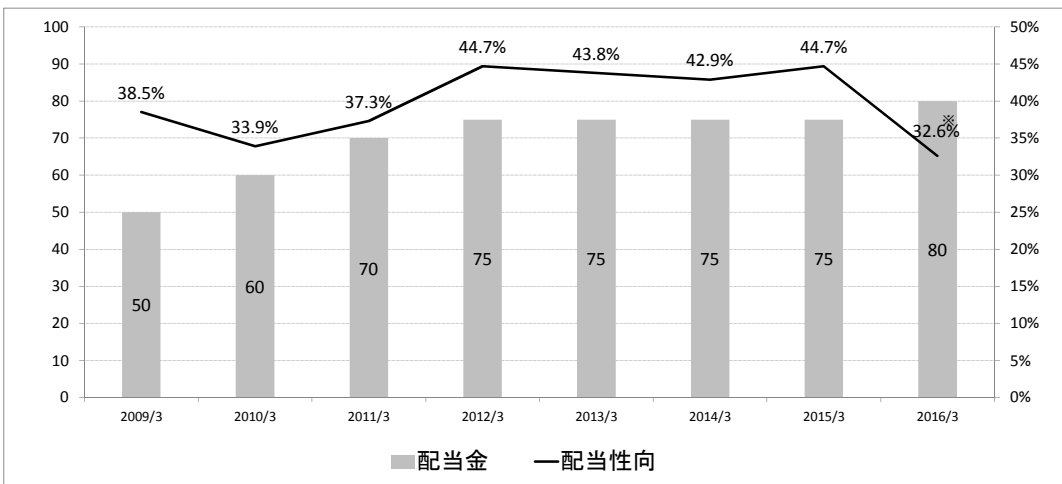
4. 設備投資と減価償却費

単位: 億円



5. 配当金と配当性向

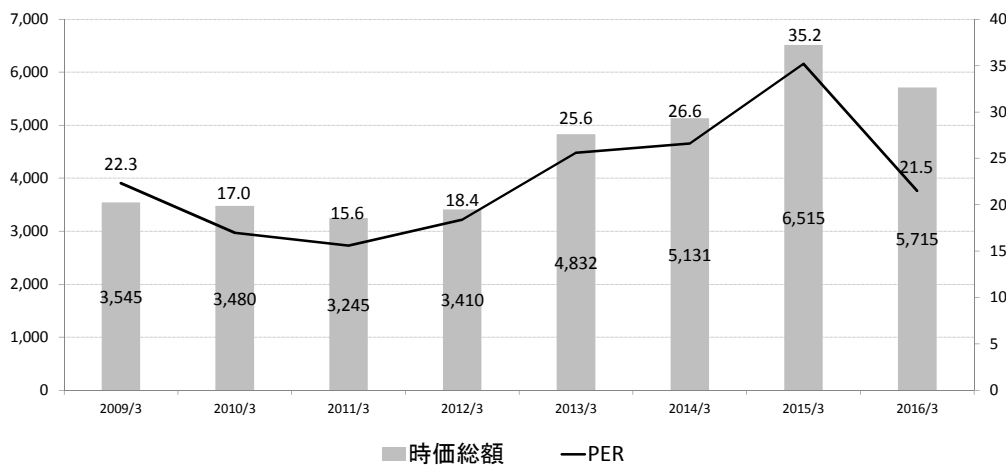
単位: 円/%(右目盛/折れ線グラフ)



※ブラジル日清の完全子会社化に伴う「特別利益」計上等により、「親会社株主に帰属する当期純利益」が一時的に増加したため。

6. 期末の時価総額とPER

単位: 億円/倍(右目盛/折れ線グラフ)



主な日清食品グループ海外進出企業(2016年9月末現在)

【連結子会社】

地域	名称	設立	住所	主要な事業の内容
中国	日清食品有限公司	1984/10	中国・香港 タイボー地区	中国地域における統括会社及び即席めんの製造販売
	日清食品香港有限公司	2015/8	中国・香港 タイボー地区	即席めんの販売
	永南食品有限公司	1989/3	中国・香港 タイボー地区	即席めん・冷凍食品の製造販売
	日清食品中国投資有限公司	2001/10	中国上海市	中国事業に対する投資会社 即席袋麺・カップ麺の販売
	上海日清食品有限公司	1995/2	中国上海市	即席めんの製造販売
	廣東順徳日清食品有限公司	1994/11	中国広東省佛山市	即席めんの製造販売
	珠海市金海岸永南食品有限公司	1993/7	中国広東省珠海市	即席めんの製造販売
	港永南食品(深圳)有限公司	1999/3	中国広東省深圳市	冷凍食品の製造販売
	日清食品(香港)管理有限公司	2001/7	中国・香港 タイボー地区	香港地区共通の間接業務サービスの提供
	東莞日清包装有限公司	2013/11	中国広東省東莞市	即席めん包装資材の製造
	日清湖池屋(中国・香港)有限公司	2013/10	中国・香港 タイボー地区	スナック菓子の販売
	福建日清食品有限公司	2014/3	中国福建省廈門市	即席めんの製造販売
	浙江日清食品有限公司	2015/1	中国浙江省平湖市	即席めんの製造販売
米州	ニッシンフーズU.S.A. Co., Inc.	1970/7	米国 カリフォルニア州ゲーデナ市	即席めんの製造販売
	明星U.S.A. ,Inc.	1991/4	米国 カリフォルニア州チノ市	チルド食品の製造販売
	ニッシンフーズメキシコS.A. de C.V.	2005/10	メキシコ メキシコ州レルマ市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズコロンビアS.A.S.	2013/3	コロンビア共和国 ボゴタ市	即席めんの販売
	ニッシンフーズブラジルLtda. ※1	1975/5	ブラジル サンパウロ市	即席めんの製造販売
	ニッシンテクノロジアーリメントスブラジルLtda. ※1	2001/3	ブラジル サンパウロ市	即席めんの製造技術の提供
アジア	ニッシンフーズアジアPTE. LTD.	1970/9	シンガポール セノコ	アジアにおける統括会社
	ニッシンフーズシンガポールPTE.LTD.	2015/5	シンガポール ジュロン	即席めんの製造販売
	インドニッシンフーズLTD.	1990/5	インド バンガロール市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズインドIA LTD.	2009/2	インド バンガロール市	即席めんの販売
	ニッシンフーズ ベトナムCO., LTD.	2011/3	ベトナム ヒンズン省	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズタイランドCO., LTD.	1994/1	タイ バトゥムタニー県	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズインドネシアCO.,LTD. ※3	1992/6	インドネシア プカシ市	即席めんの製造販売
EMEA	ニッシンフーズKft.	2004/4	ハンガリー ケチュケメット市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズGmbH	1993/2	ドイツ フランクフルト市	即席めんの販売
	ニッシンユルドウス	2012/9	トルコ サカルヤ県	即席めんの製造販売

【持分法適用関連会社】

地域	名称	設立	住所	主要な事業の内容
アジア	タイブレジデントフーズPub. Co., Ltd.	2006/12	タイ バンコク市	即席めんの製造販売
アジア	ニッシンユニバーサルロピナCorp. ※2	1994/10	フィリピン パシッグ市	即席めんの製造販売
ロシア	マルベンフードホールディングスLtd.	2009/1	キプロス共和国	即席めん事業を営む企業集団の持株会社

※1: ニッシンフーズブラジルLtda.及びニッシンテクノロジアーリメントスブラジルLtda.は2015年度3Qより連結子会社です。

※2: ニッシンユニバーサルロピナコーポレーション(本社:フィリピン)の業績は2015年度1Qより当社持分法損益へ反映(持分比率:49.00%)されています。

※3: ニッシンフーズインドネシアは2016年度1Qより連結子会社です。

IR関連リリース

	発表日	内 容
2015年	2月4日	会社人事について(日清食品(株)代表取締役社長、日清シスコ(株) 代表取締役社長)
	2月18日	アジア4ヶ国における三菱商事(株)との戦略的アライアンス契約締結に関するお知らせ
	3月4日	会社人事・機構改革について(米国総代表、米国日清(株)代表取締役社長)
	4月2日	会社人事について(独立社外取締役、独立社外監査役)
	5月7日	完全子会社(日清食品ビジネスサポート株式会社)との吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ
	8月27日	NISSIN-AJINOMOTO ALIMENTOS LTDA.(日清味の素アリメントス(ブラジル)) の 追加持分取得並びに連結子会社化に関するお知らせ
	10月7日	連結子会社の異動に関するお知らせ(NISSIN TECHNOLOGY ALIMENTOS DO BRASIL LTDA.)
	10月30日	NISSIN-AJINOMOTO ALIMENTOS LTDA.(日清味の素アリメントス(ブラジル)) に関する 持分取得手続完了のお知らせ
	11月12日	平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ
	11月26日	今麦郎グループとの合併契約解消並びに持分譲渡に関するお知らせ
	12月2日	自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ
	12月3日	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の取得結果、及び自己株式取得終了に関するお知らせ
	12月24日	三菱商事株式会社との戦略的アライアンスにかかる変更契約締結に関するお知らせ(インドネシア日清)
2016年	1月15日	ぼんち株式会社の追加株式取得並びに連結子会社化に関するお知らせ
	3月23日	英国大手食品メーカーとの業務提携契約に関する基本合意のお知らせ
	3月24日	Premier Foods plc の株式取得に関するお知らせ
	4月22日	Premier Foods plcとのRelationship Agreement締結に関するお知らせ
	5月9日	代表取締役および役員等の異動について
	5月12日	日清食品グループ「中期経営計画2020」について
	5月12日	当社株式の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)の更新について
	8月17日	投資有価証券の売却に関するお知らせ
	8月29日	投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ

トピックス

2015年	4月13日	(日清食品)「カップヌードル」シリーズ6品(4月下旬より リニューアル発売)
	5月14日	(日清シスコ)「ごろっとグラノーラ」リニューアル 及び 生産ライン増設
	7月13日	プロテニスプレーヤー 錦織圭選手と所属契約を2020年まで更新
	8月25日	グローバル食品安全研究所(the WAVE)に「究理棟」新設
	11月4日	コーポレート・ガバナンスに関する報告書を東証TDnetにて公表
2016年	3月28日	日本初! 株価連動型社員食堂「KABUTERIA」をオープン!
	5月2日	おかげさまで45周年。「カップヌードル」ブランドが世界累計400億食達成!
	6月23日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 オフィシャルパートナーシップ契約を締結
	9月1日	日清食品の直営オンラインストアを2016年9月30日(金)にリニューアルオープン

(参考)前中期経営計画2015(2013年4月発表)ダイジェスト結果

1. 日清食品グループ理念 「EARTH FOOD CREATOR」 グローバルに「食」の楽しみや喜びを提供することで、社会や地球に貢献する。

2. 「EARTH FOOD CREATOR」の体現

2015年度(2016/3)	2020年度(2021/3)	長期ビジョン
グローバルカンパニー推進	グローバルカンパニー評価獲得	EARTH FOOD CREATOR 体現
海外売上比率:20%超	海外売上比率:30%超	海外売上比率:50%超
ROE:7%超	ROE:8%超	ROE:10%超

3. グローバルカンパニー推進に向けた全体戦略

- ▶ 国内事業の収益力強化 : 新収益モデル確立「ハイスピードブランディングシステム」の導入、共同購入・物流によるコスト削減
- ▶ 海外事業での成長加速 : 市場にあった事業モデル確立「成熟市場・成長市場・新規市場」の各事業モデル
- ▶ 全社共通の戦略的取り組み : プラットフォーム機能の強化「M&A、ROE重視経営、グローバル人材制度の確立」

4-1. 本中期経営計画の達成目標

項目	中期計画 対象期間(3年間)				中期計画 (2016年3月期)	2015実績 vs中計
	2012年度実績 (2013年3月期)	2013年度実績 (2014年3月期)	2014年度実績 (2015年3月期)	2015年度実績 (2016年3月期)		
売上高	3,828 億円	4,176 億円	4,316 億円	4,681 億円	4,500 億円	+4.0%
うち海外売上高	535 億円	737 億円	828 億円	1,009 億円	985 億円	+2.4%
営業利益	240 億円	277 億円	243 億円	264 億円	310 億円	-14.8%
経常利益	310 億円	348 億円	330 億円	307 億円	360 億円	-14.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	189 億円	193 億円	185 億円	269 億円	230 億円	+17.0%
営業利益率	6.3 %	6.6 %	5.6 %	5.6 %	6.9 %	-
経常利益率	8.1 %	8.3 %	7.6 %	6.6 %	8.0 %	-
ROE	6.4 %	6.0 %	5.3 %	7.4 %	7.2 %	-

4-2. 本中期経営計画の達成目標【国内エリア】

即席めん事業/売上	2,402 億円	2,505 億円	2,550 億円	2,652 億円	2,520 億円	+5.2%
営業利益	255 億円	277 億円	251 億円	253 億円	272 億円	-6.8%
チルド・冷凍事業売上	526 億円	548 億円	566 億円	598 億円	580 億円	+3.1%
営業利益	8 億円	5 億円	△ 2 億円	7 億円	14 億円	-48.9%
菓子・飲料事業売上※1	340 億円	361 億円	343 億円	386 億円	400 億円	-3.6%
営業利益	6 億円	12 億円	13 億円	13 億円	19 億円	-31.7%

※1: 2013年実績時までは、「外食」含む

4-3. 本中期経営計画の達成目標【海外エリア】

米州売上	259 億円	322 億円	357 億円	483 億円	378 億円	+27.6%
営業利益	2 億円	5 億円	7 億円	11 億円	8 億円	+32.5%
中国地域売上	208 億円	299 億円	345 億円	409 億円	322 億円	+27.1%
営業利益	18 億円	28 億円	33 億円	41 億円	27 億円	+51.4%
アジア売上	40 億円	55 億円	78 億円	72 億円	180 億円	-59.9%
営業利益	△ 5 億円	△ 16 億円	△ 22 億円	△ 20 億円	1 億円	-
EMEA売上	27 億円	60 億円	47 億円	46 億円	105 億円	-56.3%
営業利益	2 億円	△ 2 億円	△ 1 億円	△ 4 億円	10 億円	-
海外事業売上合計	535 億円	737 億円	828 億円	1,009 億円	985 億円	+2.5%
営業利益合計	18 億円	16 億円	16 億円	28 億円	46 億円	-39.0%

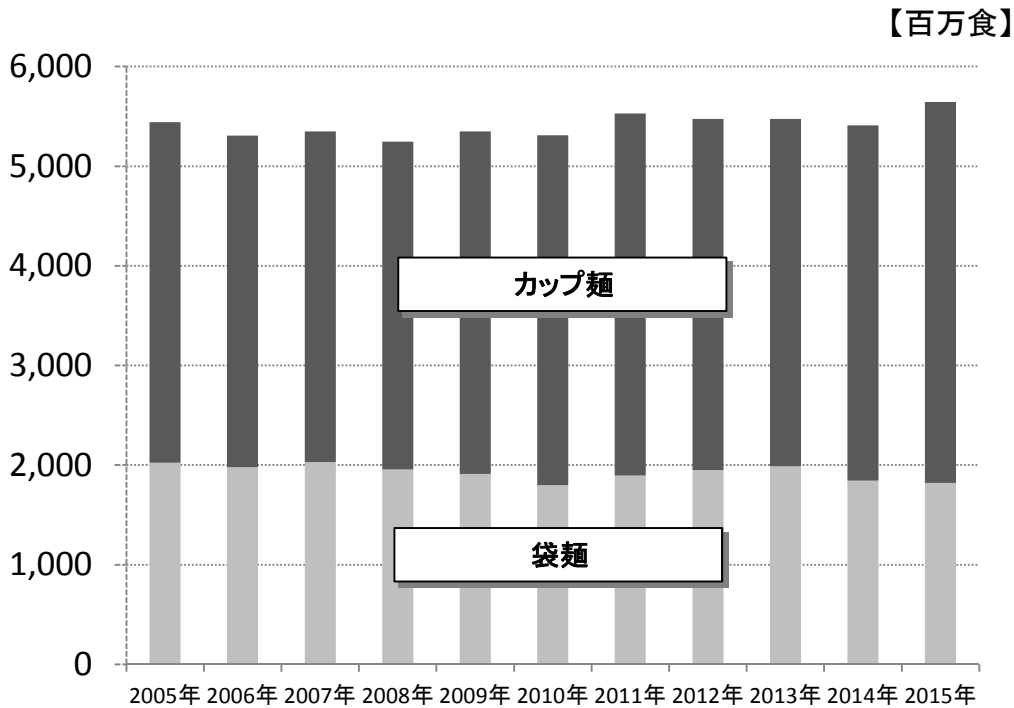
4-4. 設備投資額

設備投資額	3年間合計(13年度-15年度実績)				3年間合計(中期計画)	
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	500 億円	+66.5%
	216 億円	275 億円	230 億円	328 億円		

5. 財務政策

3年間の投資予算	設備投資額:~500億円/事業投資枠:~650億円 ⇒ 変更:合計総額1,150億円の枠とする。
株主還元方針	配当性向:40%以上を目指す/自社株式取得:市場環境・自社環境を勘案して検討
効率性指標	ROE重視の経営

国内即席めん類の袋めん・カップめん 総生産数量推移 (2005年～2015年)



(単位：百万食)

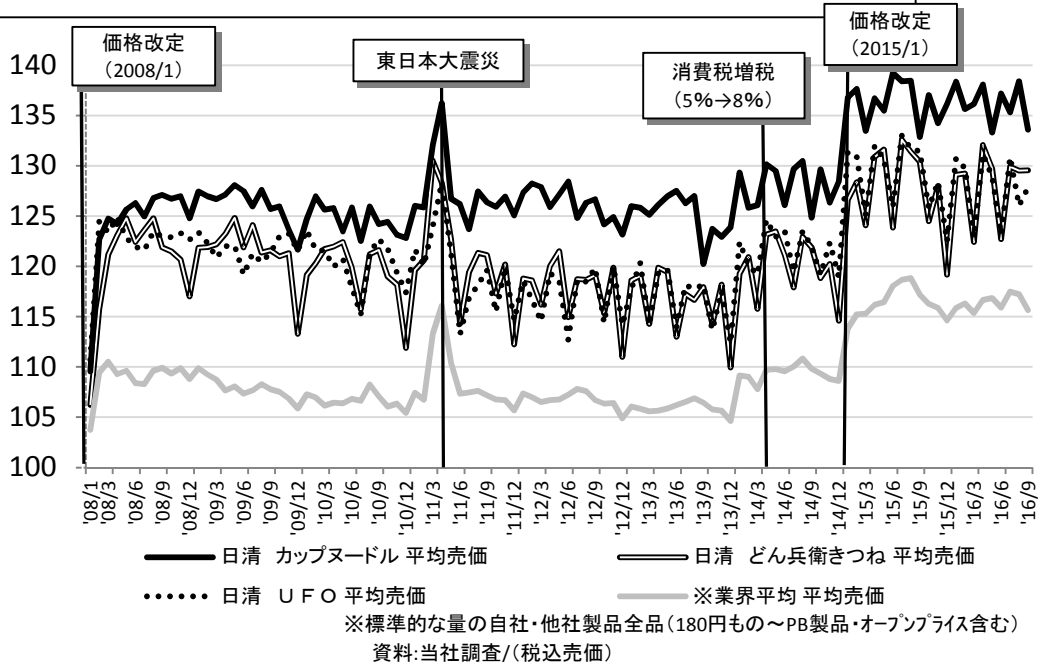
年度	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
カップ麺	3,419	3,327	3,319	3,290	3,438	3,510	3,635	3,527	3,487	3,566	3,825
袋麺	2,023	1,979	2,031	1,955	1,911	1,799	1,895	1,948	1,988	1,844	1,820
合計	5,442	5,305	5,349	5,245	5,349	5,309	5,530	5,476	5,475	5,410	5,645

【出所】一般社団法人 日本即席食品工業協会 (<http://www.instantramen.or.jp>)

年間の食数は4～3月ベースです。

主要製品 レギュラー製品量販店平均売価(税込) 推移 (2008/1-2016/9)

【単位：円】



※標準的な量の自社・他社製品全品(180円もの～PB製品・オープンアップライ含む)
資料:当社調査/(税込売価)

国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移（2014/4～2016/9）

【袋めん・カップめん合計】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2016年度		532	414	430	392	406	475							2,649
	前年比		113.6	106.4	105.3	91.8	98.6	95.9							101.9
	2015年度		468	389	408	427	412	495	574	559	543	400	456	512	5,645
	前年比		100.6	95.0	108.0	106.5	111.8	101.9	98.5	103.0	106.0	100.8	109.4	114.0	104.3
	2014年度		466	410	378	401	368	486	583	543	512	397	417	449	5,410
	前年比		95.9	94.1	104.6	102.8	103.1	109.1	103.6	97.1	96.9	102.4	94.4	86.3	98.8
総生産額 (百万円)	2016年度		54,519	42,780	44,338	40,444	41,753	49,161							272,995
	前年比		115.5	109.4	106.1	92.4	99.3	97.7							103.3
	2015年度		47,189	39,097	41,805	43,758	42,045	50,341	58,806	57,476	56,654	41,648	46,722	52,279	577,820
	前年比		104.6	98.0	112.4	110.5	116.8	107.7	102.9	107.0	111.2	103.7	112.5	116.0	108.4
	2014年度		45,119	39,909	37,192	39,582	35,994	46,726	57,161	53,734	50,932	40,177	41,535	45,078	533,141
	前年比		96.2	94.7	105.8	103.9	102.9	107.8	104.1	98.3	97.7	106.1	97.3	89.6	100.0

【袋めん】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2016年度		171	129	131	124	133	145							835
	前年比		114.6	95.9	103.2	91.0	100.2	90.4							99.2
	2015年度		150	135	127	137	133	161	188	182	173	119	148	168	1,820
	前年比		89.4	91.9	97.2	97.6	98.6	85.5	94.6	104.0	112.7	90.5	114.0	113.7	98.7
	2014年度		168	147	130	140	135	188	199	175	153	132	130	148	1,844
	前年比		92.8	90.0	95.0	95.5	102.6	114.6	96.7	90.5	85.2	98.2	81.3	76.7	92.7
総生産額 (百万円)	2016年度		12,553	9,532	9,673	9,362	10,004	10,696							61,819
	前年比		114.7	95.2	102.7	91.9	100.4	90.7							99.2
	2015年度		10,944	10,011	9,418	10,192	9,967	11,794	14,073	13,457	12,830	8,799	10,798	12,326	134,609
	前年比		90.4	94.0	98.7	99.0	102.0	88.4	100.1	108.4	118.9	91.9	118.0	116.1	101.7
	2014年度		12,105	10,654	9,537	10,299	9,772	13,343	14,055	12,416	10,789	9,578	9,149	10,617	132,315
	前年比		95.6	92.0	96.4	96.3	102.4	115.6	96.6	90.8	84.0	100.2	81.2	77.3	93.5

【カップめん】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2016年度		360	285	299	268	273	330							1,814
	前年比		113.2	112.0	106.2	92.2	97.8	98.5							103.2
	2015年度		318	255	281	291	279	335	386	378	370	281	308	345	3,825
	前年比		106.9	96.7	113.7	111.3	119.5	112.3	100.5	102.6	103.1	105.9	107.4	114.2	107.3
	2014年度		298	263	247	261	233	298	384	368	359	265	287	302	3,566
	前年比		97.8	96.5	110.5	107.2	103.5	105.8	107.5	100.6	103.0	104.6	101.9	91.9	102.3
総生産額 (百万円)	2016年度		41,966	33,248	34,665	31,083	31,749	38,466							211,177
	前年比		115.8	114.3	107.0	92.6	99.0	99.8							104.6
	2015年度		36,245	29,086	32,388	33,566	32,078	38,547	44,734	44,019	43,825	32,849	35,924	39,952	443,211
	前年比		109.8	99.4	117.1	114.6	122.3	115.5	103.8	106.5	109.2	107.4	110.9	115.9	110.6
	2014年度		33,014	29,255	27,655	29,283	26,222	33,383	43,106	41,318	40,143	30,600	32,386	34,461	400,827
	前年比		96.5	95.6	109.4	106.8	103.1	105.0	106.8	100.8	102.2	108.1	103.0	94.2	102.3

【ノンフライ麺（袋めん）】 ※JAS格付製品のみ

（単位：百万食、%）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
ノンフライ麺 (非油処理) (百万食)	2016年度		40	30	31	28	25	28							183
	前年比		95.0	100.9	98.9	81.3	67.4	79.7							86.7
	2015年度		42	30	31	34	38	35	40	39	43	27	34	40	432
	2014年度		48	44	38	48	36	43	42	47	35	30	31	33	475

【出所】一般社団法人 日本即席食品工業協会

即席めんの世界市場（地域別）（2011-2015年） ※1-12月期の集計

地域	国名/地域	人口 (100万人)	GDP (10億ドル)	一人当たり (米ドル)	総需要(億食) (1-12月累計)					2015年 一人当たりの 消費量/年
					2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
アジア	中国	1,374.6	10,983	7,990	424.7	440.3	462.2	444.0	404.3	29.3
	香港	7.3	310	42,390						
	インドネシア	255.5	859	3,362	145.3	147.5	149.0	134.3	132.0	51.7
	日本	126.9	4,123	32,486	55.1	54.1	55.2	55.0	55.4	43.6
	ベトナム	91.7	191	2,088	49.0	50.6	52.0	50.0	48.0	52.4
	韓国	50.6	1,377	27,195	35.9	35.2	36.3	35.9	36.5	72.1
	フィリピン	102.2	292	2,858	28.4	30.2	31.5	33.2	34.8	34.1
	インド	1,292.7	2,091	1,617	35.3	43.6	49.8	53.4	32.6	2.5
	タイ	68.8	395	5,742	28.8	29.6	30.2	30.7	30.7	44.6
	マレーシア	31.0	296	9,557	13.2	13.0	13.5	13.4	13.6	43.9
	ネパール	28.4	21	751	8.2	8.9	10.2	11.1	11.9	41.9
	台湾	23.5	524	22,288	7.6	7.8	7.5	7.1	6.8	28.9
	サウジアラビア	31.4	653	20,813	6.2	6.4	6.6	4.9	5.1	16.2
	ミャンマー	51.8	67	1,292	2.4	3.0	3.4	4.1	4.6	8.9
	カンボジア	15.5	18	1,168	2.6	2.6	2.4	2.5	2.7	17.4
	バングラデシュ	159.9	206	1,287	1.0	1.6	2.2	2.5	2.7	1.7
	パキスタン	186.2	270	1,450	1.2	1.3	1.3	1.5	1.6	0.8
	カザフスタン	17.7	173	9,796	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	7.9
	シンガポール	5.5	293	52,888	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	23.3
	ウズベキスタン	31.0	66	2,121	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	3.6
イラン	79.5	388	4,877	-	-	-	0.4	0.4	0.5	
トルコ	77.7	734	9,437	-	-	-	0.2	0.3	0.4	
小計	-	-	-	848.3	879.4	917.2	887.9	827.7	-	
オセアニア	オーストラリア	24.0	1,224	50,962	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	15.4
	ニュージーランド	4.7	172	37,045	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	17.5
	小計	-	-	-	4.1	4.3	4.3	4.4	4.5	-
北米	アメリカ	321.6	17,947	55,805	42.7	43.4	43.5	42.8	42.1	13.1
	カナダ	35.8	1,552	43,332	2.1	2.1	2.1	1.9	1.9	5.4
	小計	-	-	-	44.8	45.5	45.6	44.7	44.1	-
中南米	ブラジル	204.5	1,773	8,670	21.3	23.1	23.7	23.7	22.8	11.1
	メキシコ	127.0	1,144	9,009	8.5	8.9	9.2	8.9	8.3	6.5
	グアテマラ	16.3	64	3,929	-	-	0.8	1.5	1.9	11.7
	ペルー	31.9	192	6,021	0.6	0.7	0.8	1.2	1.3	3.9
	チリ	18.0	240	13,341	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	2.3
	コスタリカ	4.8	53	10,936	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.6
	コロンビア	48.2	293	6,084	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
	小計	-	-	-	30.7	33.0	34.9	35.8	34.8	-
ヨーロッパ	ロシア	146.3	1,325	9,055	20.6	20.9	21.2	19.4	18.4	12.5
	ウクライナ	45.2	91	2,005	5.4	5.6	5.8	5.8	6.0	13.3
	イギリス	65.1	2,849	43,771	3.4	3.5	3.7	3.7	3.7	5.7
	ポーランド	38.0	475	12,495	2.9	2.7	2.6	3.0	3.1	8.1
	ドイツ	81.9	3,358	40,997	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	2.2
	チェコ	10.5	182	17,257	1.0	0.9	0.9	0.6	0.9	8.1
	フランス	64.3	2,422	37,675	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.9
	スペイン	46.4	1,200	25,865	-	-	-	0.4	0.5	1.1
	スウェーデン	9.9	493	49,866	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	3.3
	ハンガリー	9.9	121	12,240	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
	オランダ	16.9	738	43,603	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.4
	デンマーク	5.7	295	52,114	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	3.6
	ベルギー	11.3	455	40,107	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	1.4
	イタリア	60.8	1,816	29,867	-	-	-	0.1	0.2	0.2
	フィンランド	5.5	230	41,974	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	2.5
	スイス	8.2	665	80,675	-	-	-	0.1	0.1	1.5
小計	-	-	-	36.6	37.1	37.7	36.8	36.5	-	
アフリカ	ナイジェリア	178.7	490	2,743	12.6	13.4	14.3	15.2	15.4	8.6
	エジプト	88.4	331	3,740	1.2	1.5	1.7	1.9	2.0	2.3
	南アフリカ	55.0	313	5,695	1.5	1.7	1.7	1.9	1.9	3.4
	エチオピア	89.8	62	687	-	-	-	0.4	0.5	0.5
	小計	-	-	-	15.4	16.5	17.7	19.4	19.7	14.3
その他	-	-	-	2.2	2.3	2.5	9.4	9.8	-	
合計	-	-	-	982.2	1,018.0	1,059.9	1,038.5	977.1	-	

【出典】

※総需要(億食): 世界ラーメン協会(WINA)

※人口・GDP・一人当たりGDP: International Monetary Fund(IMF)の2015年データ(2016年4月18日ダウンロード)

【注釈】

※一人当たりの消費量: 人口と2015年の総需要に基づき算出

※一部、遡及修正している国・地域があります。

国内各事業の市場データ

■国内即席麺

国内即席麺市場・生産数量・前年同月比 【出所】一般社団法人 日本即席食品工業協会

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
2016年度	即席麺 計	+13.6%	+6.4%	+5.3%	-8.2%	-1.4%	-4.1%							+1.9%
	袋麺 生産数量	+14.6%	-4.1%	+3.2%	-9.0%	+0.2%	-9.6%							-0.8%
	カップ麺 生産数量	+13.2%	+12.0%	+6.2%	-7.8%	-2.2%	-1.5%							+3.2%
2015年度	即席麺 計	+0.6%	-5.0%	+8.0%	+6.5%	+11.8%	+1.9%	-1.5%	+3.0%	+6.0%	+0.8%	+9.4%	+14.0%	+4.3%
	袋麺 生産数量	-10.6%	-8.1%	-2.8%	-2.4%	-1.4%	-14.5%	-5.4%	+4.0%	+12.7%	-9.5%	+14.0%	+13.7%	-1.3%
	カップ麺 生産数量	+6.9%	-3.3%	+13.7%	+11.3%	+19.5%	+12.3%	+0.5%	+2.6%	+3.1%	+5.9%	+7.4%	+14.2%	+7.3%
2014年度	即席麺 計	-4.1%	-5.9%	+4.6%	+2.8%	+3.1%	+9.1%	+3.6%	-2.9%	-3.1%	+2.4%	-5.6%	-13.7%	-1.2%
	袋麺 生産数量	-7.2%	-10.0%	-5.0%	-4.5%	+2.6%	+14.6%	-3.3%	-9.5%	-14.8%	-1.8%	-18.7%	-23.3%	-7.3%
	カップ麺 生産数量	-2.2%	-3.5%	+10.5%	+7.2%	+3.5%	+5.8%	+7.5%	+0.6%	+3.0%	+4.6%	+1.9%	-8.1%	+2.3%

■低温セグメント

市販用チルド麺市場 日清推定 前年度比

2015年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-0.4%	-3.2%	+3.2%	-1.2%	+0.1%	+1.8%	-13.4%
数量	-2.5%	-3.4%	-1.1%	-1.6%	-1.0%	-1.8%	-21.0%
2014年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-4.6%	-5.0%	-3.2%	-2.1%	-11.6%	-6.2%	-6.0%
数量	-3.1%	-3.5%	-2.2%	-1.0%	-10.5%	-4.9%	-5.0%
2013年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-5.4%	-5.7%	-6.3%	-4.8%	-6.4%	-5.2%	+10.0%
数量	-2.2%	-3.5%	-2.7%	-1.6%	-4.3%	-1.3%	+25.6%

市販用 調理冷蔵市場 日清推定 前年度比

2015年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	+0.7%	+9.7%	+0.3%
数量	-2.3%	+5.0%	-2.5%
2014年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	-0.4%	+1.3%	+1.9%
数量	-0.2%	+2.4%	+2.4%
2013年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	+4.0%	+0.0%	+7.0%
数量	+4.0%	+2.0%	+8.0%

冷凍麺のみ(弁当含まず)

2015年度	冷凍麺合計	冷凍麺				
		ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
金額	+0.8%	+11.2%	+0.1%	-6.5%	+0.9%	-1.3%
数量	-1.7%	+9.0%	-0.1%	-9.5%	-0.6%	-4.7%
2014年度	冷凍麺合計	冷凍麺				
		ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
金額	+2.1%	+2.3%	-1.6%	-17.9%	+0.3%	+6.8%
数量	+2.6%	+2.9%	-0.5%	-18.6%	+0.4%	+6.8%
2013年度	冷凍麺合計	冷凍麺				
		ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
金額	+7.0%	-3.0%	-1.0%	+9.0%	-4.0%	+21.0%
数量	+8.0%	-7.0%	+0.0%	+2.0%	-4.0%	+21.0%

■菓子・飲料セグメント

シリアル市場 日本スナック・シリアルフーズ協会 前年比(1月-12月)

2015年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+25.8%	-9.6%	-13.3%	+50.6%	-3.2%
数量	+27.7%	-7.9%	-11.9%	+49.3%	+3.7%
2014年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+25.5%	-6.4%	-15.8%	+68.0%	-3.6%
数量	+29.7%	-3.5%	-14.6%	+69.1%	-3.5%
2013年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+14.5%	-6.4%	+10.6%	+55.2%	-4.0%
数量	+16.3%	-5.7%	+12.0%	+53.4%	-2.2%

乳酸菌飲料市場 参照:日清ヨーク調べ 前年比(4-3月)

		乳酸菌飲料	ドリンクヨーグルト
2015年度	金額	-1.3%	+18.0%
2014年度	金額	-2.7%	+17.3%

MEMO

MEMO



(2897)

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

< お問い合わせ先 >

日清食品ホールディングス株式会社 IR室

〒160-8524 東京都新宿区新宿6-28-1

TEL : (03) 3205-5027 FAX : (03) 3205-5179

e-mail : ir.jp@nissin.com